

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

AB

(11)Publication number : 2003-248562
(43)Date of publication of application : 05.09.2003

(51)Int.Cl. G06F 3/12
G06F 15/00
H04N 1/00

(21)Application number : 2002-310447 (71)Applicant : FUJI XEROX CO LTD
(22)Date of filing : 25.10.2002 (72)Inventor : HILBERT DAVID M
JONATHAN JAMES TREVOR
SCHILIT WILLIAM N
PYCOCK JAMES

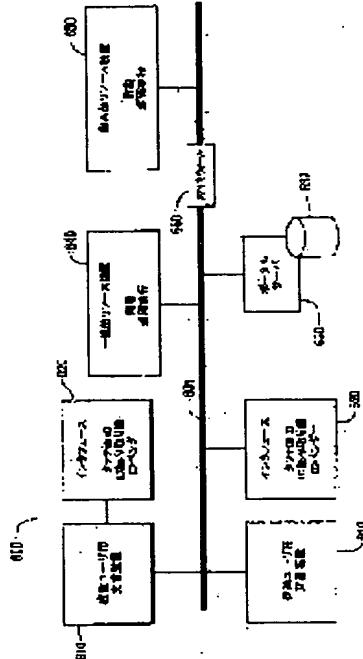
(30)Priority
Priority number : 2001 985599 Priority date : 05.11.2001 Priority country : US

(54) METHOD, SYSTEM AND PROGRAM FOR OPERATING MULTI-USER DOCUMENT DEVICE

(57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To provide a system operating a multi-user document device through a device portal (entrance).

SOLUTION: In the system 600 operating the networked multi-user document device 610, at least one multi-user document device 610, an interface 620 related to the multi-user document device 610, a portal server 630 generating a device portal based on at least one of the characteristics of the user ID or the multi-user document device and a network 601 communicating with the multi-user document device are provided. The device portal is provided on an interface 620 related to the multi-user document device 610 by having the portal server 630 access to at least one of the resources 640 and 650 through the network 601.



(19)日本国特許庁 (JP)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号
特開2003-248562
(P2003-248562A)

(43)公開日 平成15年9月5日(2003.9.5)

(51)Int.Cl. ⁷	識別記号	F I	テーマコード*(参考)
G 0 6 F 3/12		G 0 6 F 3/12	A 5 B 0 2 1
15/00	3 1 0	15/00	3 1 0 R 5 B 0 8 5
H 0 4 N 1/00	1 0 7	H 0 4 N 1/00	1 0 7 Z 5 C 0 6 2

審査請求 未請求 請求項の数32 OL (全31頁)

(21)出願番号 特願2002-310447(P2002-310447)
(22)出願日 平成14年10月25日(2002.10.25)
(31)優先権主張番号 9 8 5 5 9 9
(32)優先日 平成13年11月5日(2001.11.5)
(33)優先権主張国 米国(US)

(71)出願人 000005496
富士ゼロックス株式会社
東京都港区赤坂二丁目17番22号
(72)発明者 デイビッド マイケル ヒルパート
アメリカ合衆国 94304 カリフォルニア
州 パロ アルト ヒルビュー アベニュー
- 3400 ビルディング 4 エフエック
ス パロ アルト ラボラトリイ インコ
ーポレイテッド内
(74)代理人 100079049
弁理士 中島 淳 (外1名)

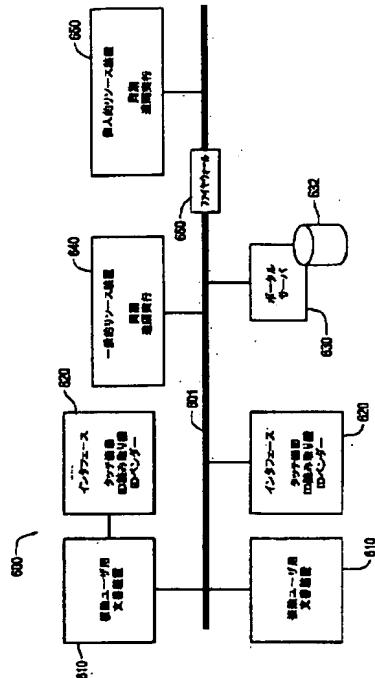
最終頁に続く

(54)【発明の名称】複数ユーザ用文書装置を操作する方法、システム、及びプログラム

(57)【要約】

【課題】装置用ポータル(入り口)を介して、複数ユーザ用文書装置を操作するシステムの提供。

【解決手段】ネットワーク化された複数ユーザ用文書装置610を操作するシステム600は、少なくとも1つの複数ユーザ用文書装置610と、複数ユーザ用文書装置610と関連づけられたインターフェース620と、ユーザのID及び複数ユーザ用文書装置の少なくとも1つの特徴の少なくとも一方に基づいて装置用ポータルを生成するポータルサーバ630と、複数ユーザ用文書装置と通信するネットワーク601とを有し、ポータルサーバ630が、ネットワーク601を介して少なくとも1つのリソース640、650にアクセスすることにより、複数ユーザ用文書装置610と関連づけられたインターフェース620に装置用ポータルを設ける。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 ネットワーク化された又はネットワーク化されていない複数ユーザ用文書装置を操作する方法において、

複数ユーザ用文書装置に装置用ポータルを設ける工程と、

前記複数ユーザ用文書装置のユーザに前記装置用ポータルを介して、前記ユーザのID及び前記複数ユーザ用文書装置の少なくとも1つの特徴の少なくとも一方に基づき、情報を提供する工程と、

を有する、複数ユーザ用文書装置を操作する方法。

【請求項2】 前記複数ユーザ用文書装置の前記ユーザに前記装置用ポータルを介して情報を提供する前記工程が、前記複数ユーザ用文書装置の前記少なくとも1つの特徴に基づくと共に、前記複数ユーザ用文書装置の前記少なくとも1つの特徴と関連づけられたリソースにアクセスすることを含む、

請求項1に記載の複数ユーザ用文書装置を操作する方法。

【請求項3】 前記複数ユーザ用文書装置の前記ユーザに前記装置用ポータルを介して情報を提供する前記工程が、前記複数ユーザ用文書装置の前記少なくとも1つの特徴に基づくと共に、前記ユーザに前記装置用ポータルを介して的を絞った宣伝を提供することを含む、

請求項2に記載の複数ユーザ用文書装置を操作する方法。

【請求項4】 前記複数ユーザ用文書装置の前記ユーザに前記装置用ポータルを介して情報を提供する前記工程が、前記複数ユーザ用文書装置のロケーションに基づくと共に、前記複数ユーザ用文書装置の前記ロケーションと関連づけられたリソースにアクセスすることを含む、

請求項1に記載の複数ユーザ用文書装置を操作する方法。

【請求項5】 前記複数ユーザ用文書装置の前記ユーザに前記装置用ポータルを介して情報を提供する前記工程が、前記ユーザに前記装置用ポータルを介して的を絞った宣伝を提供することを更に含む、

請求項4に記載の複数ユーザ用文書装置を操作する方法。

【請求項6】 前記複数ユーザ用文書装置の前記ユーザに前記装置用ポータルを介して情報を提供する前記工程が、前記ユーザの前記IDに基づき、

前記複数ユーザ用文書装置を操作する方法が、前記複数ユーザ用文書装置の前記ユーザを識別する工程と、

前記識別されたユーザ用の個人用ポータルにアクセスする工程と、

を更に有する、請求項1に記載の複数ユーザ用文書装置を操作する方法。

【請求項7】 前記複数ユーザ用文書装置の前記ユーザ

を識別する前記工程が、前記ユーザと関連づけられた電子タグの検出、前記ユーザと関連づけられたコード化されたカードの読み取り、前記ユーザと関連づけられたキーエンターの受信、生体測定の分析、及び前記ユーザが操作する遠隔の装置からの信号の受信の少なくとも1つを含む、

請求項6に記載の複数ユーザ用文書装置を操作する方法。

【請求項8】 前記識別されたユーザ用の前記個人用ポータルにアクセスする前記工程が、1つ以上の装置に格納された個人用リソースにアクセスすることを含む、

請求項6に記載の複数ユーザ用文書装置を操作する方法。

【請求項9】 第2の複数ユーザ用文書装置の同一ユーザを識別する工程と、

前記識別されたユーザの別の個人用ポータルと共有の情報を提供する、前記識別されたユーザ用の第2の個人用ポータルにアクセスする工程と、

を更に有する、請求項6に記載の複数ユーザ用文書装置を操作する方法。

【請求項10】 前記ユーザと複数ユーザ用文書装置との少なくとも1つのやりとりを格納する工程を更に有し、前記個人用ポータルにアクセスする前記工程が、前記ユーザの前記格納された少なくとも1つのやりとりにアクセスすることを含む、

請求項6に記載の複数ユーザ用文書装置を操作する方法。

【請求項11】 前記識別されたユーザに前記個人用ポータルを介して、前記識別されたユーザ用に個人化された情報を提供することを更に含む、請求項6に記載の複数ユーザ用文書装置を操作する方法。

【請求項12】 前記識別されたユーザに前記個人用ポータルを介して、的を絞った宣伝を提供することを更に含む、請求項6に記載の複数ユーザ用文書装置を操作する方法。

【請求項13】 少なくとも1つの選択された複数ユーザ用文書装置の使用に報償を関連づけることを更に含む、請求項6に記載の複数ユーザ用文書装置を操作する方法。

【請求項14】 ネットワーク化された複数ユーザ用文書装置を操作するシステムにおいて、

少なくとも1つの複数ユーザ用文書装置と、

前記複数ユーザ用文書装置と関連づけられたインターフェースと、

ユーザのID及び前記複数ユーザ用文書装置の少なくとも1つの特徴の少なくとも一方に基づいて装置用ポータルを生成するポータルサーバと、

前記複数ユーザ用文書装置と通信するネットワークと、を有し、

前記ポータルサーバが、前記ネットワークを介して少な

くとも 1 つのリソースにアクセスすることにより、前記複数ユーザ用文書装置と関連づけられた前記インターフェースに前記装置用ポータルを設ける、
複数ユーザ用文書装置を操作するシステム。

【請求項 15】 前記ネットワークと通信する少なくとも 1 つのリソース装置を更に有し、該リソース装置が、前記複数ユーザ用文書装置のロケーションと関連づけられた情報を格納し、前記ポータルサーバが、前記リソース装置に格納された前記複数ユーザ用文書装置の前記ロケーションと関連づけられた情報にアクセスすることにより、前記装置用ポータルを生成する、請求項 14 に記載の複数ユーザ用文書装置を操作するシステム。

【請求項 16】 前記ネットワークと通信する少なくとも 1 つのリソース装置を更に有し、該リソース装置が、前記複数ユーザ用文書装置と関連づけられた情報を格納し、前記ポータルサーバが、前記リソース装置に格納された前記複数ユーザ用文書装置と関連づけられた情報にアクセスすることにより、前記装置用ポータルを生成する、
請求項 14 に記載の複数ユーザ用文書装置を操作するシステム。

【請求項 17】 前記ポータルサーバに対して前記ユーザを識別する、前記複数ユーザ用文書装置のユーザと関連づけられたユーザ識別装置を更に有する、請求項 14 に記載の複数ユーザ用文書装置を操作するシステム。

【請求項 18】 前記ユーザ識別装置が、キーエントリ、電子タグ、コード化されたカード、生体測定装置、及び前記ユーザが操作する遠隔の装置からの信号の少なくとも 1 つを有する、
請求項 17 に記載の複数ユーザ用文書装置を操作するシステム。

【請求項 19】 前記ネットワークに接続された少なくとも 1 つの個人用リソース装置を更に有し、該個人用リソース装置が、前記識別されたユーザと関連づけられた情報を格納し、前記ポータルサーバが、前記個人用リソース装置に格納された前記識別されたユーザと関連づけられた情報にアクセスすることにより、前記装置用ポータルを生成する、
請求項 17 に記載の複数ユーザ用文書装置を操作するシステム。

【請求項 20】 ネットワーク化されていない複数ユーザ用文書装置を操作するシステムにおいて、
少なくとも 1 つの複数ユーザ用文書装置と、
前記複数ユーザ用文書装置と関連づけられたインターフェースと、
前記複数ユーザ用文書装置及び前記インターフェースの少なくとも一方と関連づけられた少なくとも 1 つのリソース装置と、
を有し、
前記リソース装置が、ユーザの ID 及び前記複数ユーザ

用文書装置の少なくとも 1 つの特徴の少なくとも一方に基づき装置用ポータルを生成するための情報を格納する、
複数ユーザ用文書装置を操作するシステム。

【請求項 21】 前記リソース装置が、前記複数ユーザ用文書装置のロケーションと関連づけられた情報を格納し、前記複数ユーザ用文書装置のロケーションに基づいて前記装置用ポータルが生成される、
請求項 20 に記載の複数ユーザ用文書装置を操作するシステム。

【請求項 22】 前記リソース装置が、前記複数ユーザ用文書装置と関連づけられた情報を格納し、前記複数ユーザ用文書装置と関連づけられた情報に基づいて前記装置用ポータルが生成される、
請求項 20 に記載の複数ユーザ用文書装置を操作するシステム。

【請求項 23】 前記インターフェースに対して前記ユーザを識別する、前記複数ユーザ用文書装置のユーザと関連づけられたユーザ識別装置を更に有し、前記識別されたユーザの前記 ID に基づいて前記装置用ポータルが生成される、
請求項 20 に記載の複数ユーザ用文書装置を操作するシステム。

【請求項 24】 前記ユーザ識別装置が、キーエントリ、電子タグ、コード化されたカード、生体測定装置、及び前記ユーザが操作する遠隔の装置からの信号の少なくとも 1 つを有する、
請求項 23 に記載の複数ユーザ用文書装置を操作するシステム。

【請求項 25】 前記複数ユーザ用文書装置、前記インターフェース及び前記ユーザ識別装置の少なくとも 1 つと関連づけられた少なくとも 1 つの個人用リソース装置を更に有し、該個人用リソース装置が、前記識別されたユーザと関連づけられた情報を格納し、前記個人用リソース装置に格納された前記識別されたユーザと関連づけられた情報にアクセスすることにより前記装置用ポータルが生成される、
請求項 23 に記載の複数ユーザ用文書装置を操作するシステム。

【請求項 26】 複数ユーザ用文書装置の装置用ポータルにユーザの ID を入力する工程と、
前記ユーザの前記 ID をユーザ識別装置と関連づける工程と、
前記ユーザに前記ユーザ識別装置を供給する工程と、
を有する、複数ユーザ用文書装置を操作する方法。

【請求項 27】 前記ユーザ識別装置に支払い情報を関連づけることを更に含む、請求項 26 に記載の複数ユーザ用文書装置を操作する方法。

【請求項 28】 前記ユーザに前記ユーザ識別装置を供給する前記工程が、

前記ユーザにコード化されたカードを供給することを含む、

請求項26に記載の複数ユーザ用文書装置を操作する方法。

【請求項29】 前記ユーザ識別装置を用いて複数ユーザ用文書装置の前記ユーザのIDを認証する工程と、前記認証された前記ユーザのIDに基づき、前記ユーザと関連づけられた個人用ポータルにアクセスする工程と、

を更に有する、請求項26に記載の複数ユーザ用文書装置を操作する方法。

【請求項30】 前記ユーザに前記個人用ポータルを介して的を絞った宣伝を提供することを更に含む、請求項29に記載の複数ユーザ用文書装置を操作する方法。

【請求項31】 前記個人用ポータルを介した前記複数ユーザ用文書装置の使用に基づき、前記ユーザの前記IDに報償を関連づけることを更に含む、請求項30に記載の複数ユーザ用文書装置を操作する方法。

【請求項32】 ネットワーク化された又はネットワーク化されていない複数ユーザ用文書装置を操作するプログラムにおいて、

複数ユーザ用文書装置に装置用ポータルを設けるための命令と、

前記複数ユーザ用文書装置のユーザに前記装置用ポータルを介して、前記ユーザのID及び前記複数ユーザ用文書装置の少なくとも1つの特徴の少なくとも一方に基づき、情報を提供するための命令と、

を有する、複数ユーザ用文書装置を操作するプログラム。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】 本発明は、複数ユーザ用文書装置を操作するシステム及び方法に関する。詳細には、本発明は、装置用ポータル(入り口)を介して、複数ユーザ用文書装置を操作するシステム及び方法に関する。

【0002】

【従来の技術】 オフィス環境内及び/又は外で、個人的な用事及び仕事で、コピー機、プリンタ、スキャナ、ファクシミリ装置、及び多機能装置(以後、集合的に“複数ユーザ用文書装置”と呼ぶ)を使用することがしばしば必要となる。オフィス内では、複数のユーザが、様々な仕事関連業務を達成するために、様々な装置を用いることがある。

【0003】 小規模会社では、装置に資本及びオフィス空間を割り当てる事なく、多機能装置へアクセスすることが必要な場合もある。多機能装置を所有又はリースしている、より規模が大きい会社も、例えば、従業員が出張中又は離れた場所で働くかなくてはならない場合に、同様の装置にアクセスする必要があり得る。この目的で、多機能装置が、例えば、小売店や喫茶店等では一般

の人々が使用できるように、又は、例えばホテルや空港などのビジネスセンターでは選択されたユーザが使用できるように、設置されている。

【0004】 オフィスのコンピュータシステムと統合するため、多機能装置をネットワーク化して、これらの装置が複数のコンピュータ端末又はワークステーションから情報を受信できるようにすることが知られている。更に、例えばインターネットを介して、多機能装置をネットワーク化することが知られている。このように、インターネットを用いて多機能装置をネットワーク化することにより、多機能装置の遠隔モニタリング及び/又はサービスが可能になる。

【0005】 インターネット又はワールドワイドウェブに関しては、Amazon.com等の電子商取引ウェブサイト、及びMy.Yahoo.com等のポータルウェブサイトは、ユーザに、そのウェブサイトがそのユーザを“知っている”又は“覚えている”という感覚を与える。例えば、ウェブサイトは、特定のユーザが、そのユーザのパスワードを用いてそのウェブサイトにアクセスした際に、又は、端末と関連づけられた小さなファイル即ち“cookie”を有する特定の端末を用いてそのウェブサイトにアクセスした際に、個人的な挨拶を提供してもよい。

【0006】 電子商取引ウェブサイトは、将来の購入を促進するために、以前の注文の、届け先住所及び/又はクレジットカード情報を記憶していくてもよい。更に、そのようなウェブサイトは、例えば、ユーザの過去の買い物の動向に基づいて、そのユーザが購入を望むかもしれない商品に関する提案等の、最新の販売促進又は的を絞った宣伝に関する情報を提供してもよい。

【0007】 ポータルウェブサイトは、一般的に、ニュース記事、スポーツのスコア、株価、星占い及び地域の天気等の、一般的な興味を引く複数のリソースを提供し、それらはユーザ情報に基づいて個人用に特化されてもよい。このようなユーザ情報は、例えば、ユーザの個人データ(年齢、誕生日、性別等)、ユーザの興味及び/又はユーザの所在等を含んでもよい。ユーザに、ユーザ情報に基づく的を絞った宣伝を提供してもよい。

【0008】 以下の出願明細書にも関連する記載がある。

米国特許出願第09/467,526号明細書

米国特許出願第09/468,423号明細書

米国特許出願第09/468,141号明細書

【0009】

【特許文献1】 米国特許第6,144,997号明細書

【非特許文献1】 イーコピー・インコーポレイテッド(eCopy, Inc.)、「イーコピーー式(eCopy Suite e)」, (米国)

【非特許文献2】 イーコピー・インコーポレイテッド(eCopy, Inc.)、「イーコピー・スキャンステーショ

7
 ン及びシェアスキャン・ソフトウェア (eCopy ScanStation and ShareScan Software)」, (米国)
 【非特許文献3】イーコピー・インコーポレイテッド (eCopy, Inc.), 「コピー機 (Copiers)」, (米国)
 【非特許文献4】イーコピー・インコーポレイテッド (eCopy, Inc.), 「イーコピー・デスクトップ・ソフトウェア (メールルーム) (eCopy Desktop Software (MailRoom))」, (米国)
 【非特許文献5】ラミング等 (Lamming et al.) 著, 「サッチェル: いつでもどこでも任意の文書へのアクセスの提供 (Satchel: Providing Access to Any Document, Any Time, Anywhere)」, コンピューターヒューマン・インタラクションに関するエーシーエム会報 (ACM Transaction on Computer-Human Interaction), (米国), 2000年9月, 第7巻, 第3号, p. 322-352
 【非特許文献6】マンコフ等 (Mankoff et al.) 著, 「パルプレートを用いた、デスクトップを越えた知識労働者支援 (Supporting Knowledge Workers Beyond the Desktop with Palplates)」, シーエイチアイ (CHI) 97, (米国), 1997年3月, p. 22-27
 【非特許文献7】テキサスインスツルメンツ・インコーポレイテッド (Texas Instruments, Inc.), 「タグイット・リアリティへの移動コンセプト (Tag-It -Moving Concepts to Reality)」, (米国), 2000年
 【非特許文献8】ゼロックス・コーポレーション (Xerox Corp.), 「ゼロックス・オフィスソフトウェア一式ゼロックス・ドキュシェア, バージョン2.2 SPI (Xerox Office Software Suite Xerox DocuShare, Version 2.2 SPI)」, (米国), 2001年
 【非特許文献9】リチャードソン等 (Richardson et al.) 著, 「エックス・ウインドウ・システム環境におけるテレポート (Teleporting in an X Window System Environment)」, (英国), オリベッティ研究所 (Olivetti Research Laboratory), 1993年11月
 【非特許文献10】ウォント等 (Want et al.) 著, 「アクティブ・バッジ・ロケーションシステム (The Active Badge Location System)」, 情報システムに関するエーシーエム会報 (ACM Transaction on Information Systems), (米国), 1992年1月, 第10巻, 第1号, p. 91-102
 【非特許文献11】マイクロソフト・コーポレーション (Microsoft Corporation), 「マイクロソフト・ウインドウズ (登録商標) 2000に基づくローミング・ユーザ・プロファイル (Microsoft Windows (登録商標) 2000-Based Roaming User Profiles)」, 白書 (White Paper), (米国), 2000年
 【0010】
 【発明が解決しようとする課題及び課題を解決するための手段】本発明のシステム及び方法は、ネットワーク化

10
 された又はネットワーク化されていない複数ユーザ用文書装置用の、装置用ポータルを提供する。
 【0011】本発明のシステム及び方法は、ネットワーク化された又はネットワーク化されていない複数ユーザ用文書装置のユーザ用の、個人用ポータルを個別に提供する。
 【0012】本発明のシステム及び方法は、複数のネットワーク化された又はネットワーク化されていない複数ユーザ用文書装置にわたるユーザ用の、単一の個人用インターフェースを個別に提供する。
 【0013】本発明のシステム及び方法は、ネットワーク化された又はネットワーク化されていない複数ユーザ用文書装置に埋め込まれた装置用ポータルを、個別に提供する。
 【0014】本発明のシステム及び方法は、ユーザに、そのユーザの個人用リソースへのアクセス、及び/又は、そのユーザとネットワーク化された又はネットワーク化されていない複数ユーザ用文書装置との過去のやりとりへのアクセスを、個別に提供する。
 20
 【0015】本発明のシステム及び方法は、ユーザに対して、ユーザ情報に基づいて個人用に特化された情報を、個別に提供する。
 【0016】本発明のシステム及び方法は、個人用リソース、共有リソース、設定選択及び過去のやりとりのうちの少なくとも1つが永続的な、ネットワーク化された又はネットワーク化されていない複数ユーザ用文書装置のユーザ用の個人用ポータルを、個別に提供する。
 【0017】本発明のシステム及び方法は、ユーザに対して、ネットワーク化された又はネットワーク化されていない複数ユーザ用文書装置のロケーションに基づく情報を、個別に提供する。
 30
 【0018】本発明のシステム及び方法は、ユーザに対して、ネットワーク化された又はネットワーク化されていない複数ユーザ用文書装置の少なくとも1つの特徴に基づく情報を、個別に提供する。
 【0019】本発明のシステム及び方法は、ユーザに、識別装置を介绍了、ネットワーク化された又はネットワーク化されていない複数ユーザ用文書装置上の個人用ポータルへのアクセスを、個別に提供する。
 40
 【0020】本発明のシステム及び方法は、匿名モード及び個人用特化モードでアクセス可能な、ネットワーク化された又はネットワーク化されていない複数ユーザ用文書装置のユーザ用のユーザ用ポータルを、個別に提供する。
 【0021】本発明のシステム及び方法は、ネットワーク化された又はネットワーク化されていない1つ以上の選択された複数ユーザ用文書装置の毎回の使用に、ユーザへの報償を関連づける個人用ポータルを、個別に提供する。
 50
 【0022】本発明の様々な実施形態によると、ネット

ワーク化された又はネットワーク化されていない複数ユーザ用文書装置を操作する方法は、複数ユーザ用文書装置に装置用ポータルを設ける工程と、複数ユーザ用文書装置のユーザに装置用ポータルを介して、ユーザのID及び複数ユーザ用文書装置の少なくとも1つの特徴の少なくとも一方に基づき、情報を提供する工程とを有する。

【0023】本発明の様々な実施形態において、複数ユーザ用文書装置のユーザに装置用ポータルを介して情報を提供する工程は、複数ユーザ用文書装置のロケーションに基づくと共に、複数ユーザ用文書装置のロケーションと関連づけられたリソースにアクセスすることを含む。代わりに又はそれに加えて、複数ユーザ用文書装置のユーザに装置用ポータルを介して情報を提供する工程は、複数ユーザ用文書装置のロケーションに基づくと共に、ユーザに装置用ポータルを介して的を絞った宣伝を提供することを含む。本発明の様々な実施形態において、複数ユーザ用文書装置のユーザに装置用ポータルを介して情報を提供する工程は、複数ユーザ用文書装置の少なくとも1つの特徴に基づくと共に、複数ユーザ用文書装置の少なくとも1つの特徴と関連づけられたリソースにアクセスすることを含む。

【0024】本発明の様々な実施形態において、複数ユーザ用文書装置のユーザに装置用ポータルを介して情報を提供する工程は、ユーザのIDに基づく。このような実施形態では、本方法は、複数ユーザ用文書装置のユーザを識別する工程と、識別されたユーザ用の個人用ポータルにアクセスする工程とを更に有してもよい。更に、複数ユーザ用文書装置のユーザを識別する工程は、ユーザと関連づけられた電子タグの検出、ユーザと関連づけられた、例えばクレジットカードやスマートカード等のコード化されたカードの読み取り、ユーザと関連づけられたキーエントリーの受信、生体測定の分析、及び/又は、ユーザが操作する遠隔の装置からの信号の受信を含んでもよい。様々な実施形態においては、識別されたユーザ用の個人用ポータルにアクセスする工程は、1つ以上の装置に格納された個人用リソースにアクセスすることを含む。

【0025】複数ユーザ用文書装置のユーザに装置用ポータルを介して情報を提供する工程が、ユーザのIDに基づく、本発明の様々な実施形態において、本方法は、第2の複数ユーザ用文書装置の同一ユーザを識別する工程と、識別されたユーザ用の同一の個人用ポータルに、第2の複数ユーザ用文書装置を介してアクセスする工程とを更に有する。

【0026】複数ユーザ用文書装置のユーザに装置用ポータルを介して情報を提供する工程が、ユーザのIDに基づく、本発明の様々な実施形態において、本方法は、ユーザと複数ユーザ用文書装置との少なくとも1つのやりとりを格納する工程を更に有する。このような実施形

態によれば、個人用ポータルにアクセスする工程は、ユーザの格納された少なくとも1つのやりとりにアクセスすることを含む。

【0027】複数ユーザ用文書装置のユーザが識別されると共に、識別されたユーザ用の個人用ポータルが複数ユーザ用文書装置を介してアクセスされる、本発明の様々な実施形態において、本方法は、識別されたユーザに個人用ポータルを介して、識別されたユーザ用に個人化された情報を提供することを更に含んでもよい。代わりに又はそれに加えて、本方法は、識別されたユーザに個人用ポータルを介して、的を絞った宣伝を提供することを含んでもよい。代わりに又はそれに加えて、本方法は、少なくとも1つの選択された複数ユーザ用文書装置の使用に報償を関連づけることを含んでもよい。

【0028】本発明の様々な実施形態によれば、複数ユーザ用文書装置を操作するシステムは、少なくとも1つの複数ユーザ用文書装置と、複数ユーザ用文書装置と関連づけられたインターフェースと、ユーザのID及び複数ユーザ用文書装置の少なくとも1つの特徴の少なくとも一方に基づいて装置用ポータルを生成するポータルサーバと、複数ユーザ用文書装置と通信するネットワークとを有し、ポータルサーバが、ネットワークを介して少なくとも1つのリソースにアクセスすることにより、複数ユーザ用文書装置と関連づけられたインターフェースに装置用ポータルを設ける。

【0029】本発明の様々な実施形態において、本システムは、ネットワークと通信する少なくとも1つのリソース装置を更に有する。様々な実施形態では、リソース装置は、複数ユーザ用文書装置のロケーションと関連づけられた情報を格納し、ポータルサーバが、リソース装置に格納された複数ユーザ用文書装置のロケーションと関連づけられた情報にアクセスすることにより、装置用ポータルを生成する。様々な実施形態では、リソース装置は、複数ユーザ用文書装置と関連づけられた情報を格納し、ポータルサーバが、リソース装置に格納された多機能装置と関連づけられた情報にアクセスすることにより、装置用ポータルを生成する。

【0030】本発明の様々な実施形態において、本システムは、ポータルサーバに対してユーザを識別する、複数ユーザ用文書装置のユーザと関連づけられたユーザ識別装置を更に有する。様々な実施形態では、ユーザ識別装置は、キーエントリ、電子タグ、クレジットカードやスマートカード等のコード化されたカード、生体測定装置、及び/又はユーザが操作する遠隔の装置からの信号の少なくとも1つを有してもよい。

【0031】本システムが、ポータルサーバに対してユーザを識別する、複数ユーザ用文書装置のユーザと関連づけられたユーザ識別装置を有する、様々な実施形態において、本システムは、ネットワークに接続された少なくとも1つの個人用リソース装置を更に有する。様々な

実施形態では、個人用リソース装置は、識別されたユーザと関連づけられた情報を格納し、ポータルサーバが、個人用リソース装置に格納された識別されたユーザと関連づけられた情報にアクセスすることにより、装置用ポータルを生成する。

【0032】本発明の様々な実施形態によれば、複数ユーザ用文書装置を操作する方法は、複数ユーザ用文書装置の装置用ポータルにユーザのIDを入力する工程と、ユーザのIDをユーザ識別装置と関連づける工程と、ユーザにユーザ識別装置を供給する工程とを有する。様々な実施形態では、ユーザにユーザ識別装置を供給する工程は、ユーザにコード化されたカードを供給することを含む。様々な実施形態では、本方法は、ユーザ識別装置に支払い情報を関連づけることを更に含む。

【0033】本発明の様々な実施形態において、本方法は、ユーザ識別装置を用いて複数ユーザ用文書装置のユーザのIDを認証する工程と、認証されたユーザのIDに基づき、ユーザと関連づけられた個人用ポータルにアクセスする工程とを更に有する。様々な実施形態では、本方法は、ユーザに個人用ポータルを介して的を絞った宣伝を提供することを更に含んでもよい。更に、又はその代わりに、本方法は、個人用ポータルを介した複数ユーザ用文書装置の使用に基づき、ユーザのIDに報償を関連づけることを更に含んでもよい。

【0034】本発明の様々な実施形態によると、ネットワーク化されていない複数ユーザ用文書装置を操作するシステムは、少なくとも1つの複数ユーザ用文書装置と、複数ユーザ用文書装置と関連づけられたインタフェースと、複数ユーザ用文書装置及びインタフェースの少なくとも一方と関連づけられた少なくとも1つのリソース装置とを有し、リソース装置が、ユーザのID及び複数ユーザ用文書装置の少なくとも1つの特徴の少なくとも一方に基づき装置用ポータルを生成するための情報を格納する。本発明の様々な実施形態において、リソース装置は、複数ユーザ用文書装置のロケーションと関連づけられた情報を格納し、複数ユーザ用文書装置のロケーションに基づいて装置用ポータルが生成される。別の様々な実施形態では、リソース装置は、複数ユーザ用文書装置と関連づけられた情報を格納し、複数ユーザ用文書装置と関連づけられた情報に基づいて装置用ポータルが生成される。

【0035】本発明の様々な実施形態において、本システムは、インタフェースに対してユーザを識別する、複数ユーザ用文書装置のユーザと関連づけられたユーザ識別装置を更に有する。様々な実施形態では、識別されたユーザのIDに基づいて装置用ポータルが生成される。ユーザ識別装置は、キーエントリ、電子タグ、コード化されたカード、生体測定装置、及び/又はユーザが操作する遠隔の装置からの信号を有してもよい。

【0036】本システムが、インタフェースに対してユ

ーザを識別する、複数ユーザ用文書装置のユーザと関連づけられたユーザ識別装置を有する、本発明の様々な実施形態では、本システムは、複数ユーザ用文書装置、インタフェース及びユーザ識別装置の少なくとも1つと関連づけられた少なくとも1つの個人用リソース装置を更に有する。様々な実施形態では、個人用リソース装置は、識別されたユーザと関連づけられた情報を格納し、個人用リソース装置に格納された識別されたユーザと関連づけられた情報にアクセスすることにより装置用ポータルが生成される。

【0037】本発明のシステム及び方法の上記及び他の特徴及び長所は、以下の例示的な実施形態の詳細説明において説明されると共に、そこから明らかである。

【0038】

【発明の実施の形態】添付の図面を参照し、本発明の様々な例示的な実施形態を詳細に説明する。

【0039】本発明のシステム及び方法によれば、ネットワーク化された又はネットワーク化されていない複数ユーザ用文書装置は、装置用ポータルを備えている。従来の複数ユーザ用文書装置は、例えば、タッチ画面等のインタフェースを用いて操作される。本発明によると、装置用ポータルは、このようなインタフェースの機能性を、複数ユーザ用文書装置の機能性又は動作能力と共に用いられ、又は、その機能性又は動作能力を用いることができる情報及び/又はリソースへのアクセスと組み合わせる。本明細書で用いられる複数ユーザ用文書装置は、コピー機、プリンタ、スキャナ、ファクシミリ装置、それらの組み合わせ、又は、パーソナルコンピュータやPDA等といったコンピュータ装置に対する、類似の公知の又は今後開発される装置の組み合わせを含む。

【0040】様々な例示的な実施形態では、複数ユーザ用文書装置のユーザに、装置用ポータルを介して、ユーザのID及び/又は複数ユーザ用文書装置の特徴に基づく情報が提供されてもよい。例えば、ユーザに、装置用ポータルを介して、複数ユーザ用文書装置のロケーション、複数ユーザ用文書装置の所有者/貸主、又は装置の製造者等に基づく情報が提供されてもよい。

【0041】装置用ポータルを介して、ユーザに、複数ユーザ用文書装置のロケーションに基づく情報が提供される際、そのロケーションに関連づけられたリソースがアクセスされてもよい。例えば、装置用ポータルを介して、地域ニュースソース又は地域ニュース情報が提供されてもよい。別のタイプの情報としては、漫画や星占い等の娯楽関連コンテンツ、地域のレストランや映画のリスト/評論等のビジネス関連コンテンツ、地域の地図、

“現在位置”からの方向、及び他のポータル使用可能装置を含む付近のアメニティ等の地図アプリケーションが挙げられる。代わりに又はそれに加えて、装置用ポータルを介して、ユーザに、的を絞った宣伝が提供されてもよい。例えば、地域の会社のクーポンや最新の特売品情

報が提供されてもよい。

【0042】同様に、装置用ポータルを介して、ユーザに、複数ユーザ用文書装置の他の特徴に基づく情報が提供される際、複数ユーザ用文書装置の特定の特徴と関連づけられたリソースがアクセスされてもよい。例えば、ユーザに、税金の確定申告書類作成会社によって所有若しくはリースされた又はその会社が“ポンサー”となっている複数ユーザ用文書装置の装置用ポータルを介して、内国税歳入局(Internal Revenue Service)の書式のデータベースへのアクセスが提供されてもよい。また、例えば、複数ユーザ用文書装置が特定の会社に所在するか、及び/又は所有される場合には、社内報や新聞発表等の組織関連の文書が提供されてもよい。

【0043】代わりに又はそれに加えて、装置用ポータルが個人用に特化される、即ち個人用ポータルとなるように、ユーザに、装置用ポータルを介して、ユーザのIDに基づく情報が提供されてもよい。識別されたユーザ用の個人用ポータルがアクセスされると、識別されたユーザに個人用に特化された情報が、識別されたユーザに提供される。代わりに又はそれに加えて、識別されたユーザに、個人用ポータルを介して、的を絞った宣伝が提供されてもよい。代わりに又はそれに加えて、少なくとも1つの選択された複数ユーザ用文書装置の使用に、報償が関連づけられてもよい。このような報償が、ユーザに、例えば特定の所有者又は製造者の、選択された複数ユーザ用文書装置の使用を増やす、又は選択された複数ユーザ用文書装置のみを使用する動機を与えることもできよう。

【0044】装置用ポータルを介して、ユーザに、ユーザのIDに基づく情報が提供される際、識別されたユーザ用の個人用ポータルにアクセスできるように、複数ユーザ用文書装置のユーザが識別される。様々な実施形態によれば、複数ユーザ用文書装置のユーザの識別には、そのユーザと関連づけられた電子タグの検出、そのユーザと関連づけられたキーエントリの受信、そのユーザの生体測定の分析、及び/又はそのユーザが操作する遠隔の装置からの信号の受信が含まれてもよい。ユーザの識別が可能な、公知の又は今後開発される、他の任意の適切な方法を用いてよい。

【0045】識別されたユーザ用の個人用ポータルへのアクセスは、1つ以上の装置に格納された個人用リソースにアクセスすることを含んでもよい。例えば、複数ユーザ用文書装置がネットワーク化されている場合には、ネットワークを介してその装置にアクセスできる。代わりに又はそれに加えて、複数ユーザ用文書装置のユーザの識別に用いられる識別装置が、個人用リソースを格納してもよい。例えば、複数ユーザ用文書装置がネットワーク化されていない場合には、ユーザの識別に用いられる際等に、装置用ポータルと通信するよう構成された識別装置から、個人用リソースにアクセスしてもよい。

【0046】本発明のシステム及び方法は、様々な複数ユーザ用文書装置にわたって1つの個人用ポータルを提供することを可能にする。例えば、複数ユーザ用文書装置のユーザに、装置用ポータルを介して、ユーザIDに基づく情報を提供する、本発明の様々な実施形態では、識別されたユーザ用の同一の個人用ポータルにアクセスできるように、第2の複数ユーザ用文書装置の同一ユーザが識別される。装置用ポータルを介して提供される情報が、複数ユーザ用文書装置の少なくとも1つの特徴にも基づく場合には、異なる複数ユーザ用文書装置間で、個人用に特化されていない情報及び/又はリソースが依然として異なっていてもよいことを理解されたい。

【0047】複数ユーザ用文書装置のユーザに、装置用ポータルを介して、ユーザのIDに基づく情報が提供される場合には、ユーザと複数ユーザ用文書装置との少なくとも1つのやりとりが、複数ユーザ用文書装置に関連づけられた記憶装置に又は遠隔の記憶装置に格納されてもよい。このような場合には、個人用ポータルへのアクセスは、格納された少なくとも1つのユーザのやりとりにアクセスすることを含む。これにより、複数ユーザ用文書装置が、複数ユーザ用文書装置の設定に対するユーザの選択等のやりとりを“思い出す”ことができ、ユーザによる複数ユーザ用文書装置の使用が促進される。

【0048】本発明の様々な実施形態によると、ネットワーク化された複数ユーザ用文書装置を操作するシステムは、少なくとも1つの複数ユーザ用文書装置と、複数ユーザ用文書装置に関連づけられたインターフェースと、ユーザID及び複数ユーザ用文書装置の少なくとも1つの特徴の少なくとも一方に基づいて装置用ポータルを生成するポータルサーバと、複数ユーザ用文書装置と通信するネットワークとを有し、ポータルサーバは、ネットワークを介して少なくとも1つのリソースにアクセスすることにより、複数ユーザ用文書装置に関連づけられたインターフェースに装置用ポータルを設ける。複数ユーザ用文書装置は、ネットワークと直接通信してもよい。あるいは、複数ユーザ用文書装置は、インターフェースを介してネットワークと通信してもよい。

【0049】1つ以上のリソース装置がネットワークと通信してもよい。このようなリソース装置は、複数ユーザ用文書装置のロケーションと関連づけられた情報を格納してもよい。この場合には、ポータルサーバは、リソース装置に格納されている、複数ユーザ用文書装置のロケーションと関連づけられた情報にアクセスすることにより、装置用ポータルを生成する。代わりに又はそれに加えて、このようなリソース装置は、複数ユーザ用文書装置の別の特徴と関連づけられた情報を格納してもよい。この場合には、ポータルサーバは、リソース装置に格納されている、複数ユーザ用文書装置の別の特徴と関連づけられた情報にアクセスすることにより、装置用ポータルを生成してもよい。

【0050】個人用ポータルが設けられる実施形態では、ポータルサーバに対してユーザを識別するユーザ識別装置が、多機能装置のユーザと関連づけられる。ユーザ識別装置は、キーエントリ、電子タグ、生体測定装置及び/又はユーザが操作する遠隔の装置からの信号を含んでもよい。個人又は個人のグループを識別できる、公知の又は今後開発される、他の任意の適切な装置又は手段を、識別装置として用いてよい。

【0051】システムがユーザ識別装置を含む、本発明の様々な実施形態では、少なくとも1つの個人用リソース装置がネットワークに接続されてもよい。個人用リソース装置は、識別されたユーザに関連づけられた情報を格納し、ポータルサーバが、個人用リソース装置に格納された、識別されたユーザに関連づけられた情報にアクセスすることにより、装置用ポータル、個人用ポータルを生成できるようになる。

【0052】本発明の別の実施形態では、ネットワーク化されていない複数ユーザ用文書装置を操作するシステムは、少なくとも1つの複数ユーザ用文書装置と、複数ユーザ用文書装置に関連づけられたインターフェースと、複数ユーザ用文書装置及びインターフェースの少なくとも一方と関連づけられた少なくとも1つのリソース装置とを有し、リソース装置は、ユーザID及び複数ユーザ用文書装置の少なくとも1つの特徴の少なくとも一方に基づいて装置用ポータルを生成するための情報を格納する。このような実施形態では、複数ユーザ用文書装置はスタンドアロンの装置である。

【0053】本発明によると、複数ユーザ用文書装置は、複数ユーザ用文書装置の装置用ポータルにユーザのIDを入力し、ユーザのIDをユーザ識別装置と関連づけ、ユーザにユーザ識別装置を供給することにより、操作されてもよい。換言すれば、複数ユーザ用文書装置を操作するシステムは、ユーザに識別装置を提供してもよく、又は、ユーザを識別する装置に情報を提供してもよい。例えば、ユーザへのユーザ識別装置の供給は、コード化されたカードをユーザに供給することを含んでもよい。

【0054】ユーザ識別装置を用いて、複数ユーザ用文書装置のユーザのIDを認証し、認証されたユーザのIDに基づいて、ユーザに関連づけられた個人用ポータルにアクセスしてもよい。支払い情報、すなわち複数ユーザ用文書装置の使用に対する支払いの達成のために用いられる得る情報を、ユーザ識別装置と関連づけてもよい。例えば、ユーザ識別装置に、電子通貨の残高を含む情報を格納してもよい。或いは、ユーザ識別装置に、請求先のアカウント（口座）や請求先のアドレス（住所）等の情報を関連づけてもよい。

【0055】上述したように、識別されたユーザに、個人用ポータルを介して、的を絞った宣伝を提供してもよい。更に、個人用ポータルを介した複数ユーザ用文書裝

置の使用に基づいて、ユーザのIDに報償を関連づけてもよい。

【0056】なお、本発明の様々なシステム及び方法では、上述した特徴の様々な組み合わせを用いてもよい。従って、以下の例示的な実施形態の説明は、網羅的なものではなく、むしろ、当業者による理解のための説明を目的とするものである。

【0057】図1は、本発明による、ネットワーク化された複数ユーザ用文書装置を操作するシステム10の概略図である。図示されるように、多機能装置（MFD）等の複数ユーザ用文書装置には、機能的リソース102が設けられている。機能的リソース102は、多機能装置の様々な機能を実行するのに必要な、任意のデータ又は情報を含む。例えば、機能的リソース102は、複数ユーザ用文書装置に組み込まれたソフトウェア及び/又はデータベースを含んでもよい。複数ユーザ用文書装置を公知の方法で操作するために、複数ユーザ用文書装置のインターフェース100が、機能的リソース102にアクセスする。

【0058】複数ユーザ用文書装置には、例えば、複数ユーザ用文書装置及び/又はインターフェース100をネットワークに接続することにより、一般的リソース200へのアクセスが与えられてもよい。このようなネットワークは、クライアント/サーバ・ローカルエリアネットワークや、複数の要素を相互接続するための任意の公知の又は今後開発されるシステムとして実施されてもよい。このようなネットワークは、例えば、ワイドエリアネットワーク、インターネット、インターネット、又は他の任意のタイプの分散ネットワークを含むが、これらに限定されない。

【0059】図1に示されるように、一般的リソース200を用いて、インターフェース100の機能性に、複数ユーザ用文書装置の機能性又は動作能力と共に用いられ、又は、その機能性又は動作能力を用いることができる情報及び/又はリソースへのアクセスを組み合わせた、装置用ポータル300が生成される。図示されるように、一般的リソース200は、ニュース210、漫画212、天気214、地域情報216及び技術報告218等の様々な情報的リソースを含んでよい。一般的リソース200は、複数ユーザ用文書装置のロケーション及び/又は複数ユーザ用文書装置の所有者若しくは製造者等といった複数ユーザ用文書装置の特徴に基づいて、情報を提供してもよい。例えば、ニュース210及び天気214は、複数ユーザ用文書装置がある地域に特定された情報を提供してもよい。また、例えば、複数ユーザ用文書装置が特定の会社に所在する及び/又は所有されている場合には、関連の技術報告218が提供されてもよい。地域情報216は、例えば、近所の会社の宣伝を含んでもよい。

【0060】複数ユーザ用文書装置には、例えば、複数

ユーザ用文書装置及び/又はインターフェース100をネットワークに接続することにより、個人用リソース400へのアクセスが与えられてもよい。図1に示されるように、個人用リソース400を用いて、インターフェース100の機能性に、複数ユーザ用文書装置の機能性又は動作能力と共に用いられ、又は、その機能性又は動作能力を用いることができる情報及び/又はリソースへのアクセスを組み合わせた、個人用ポータル500が生成される。個人用ポータル500は、ユーザのIDに基づいて、複数ユーザ用文書装置の識別されたユーザの個人用リソース400へのアクセスを備えることにより、個人用に特化される。個人用ポータル500は、装置用ポータル300と関連づけられた一般的リソース200を含んでもよいが、含む必要はない。

【0061】図示されるように、個人用リソース400は、ファクシミリ発信ログ410、最近使った文書412、複数ユーザ用文書装置に対するユーザの設定選択414、ウェブサイトのアドレス416及び電子メール418等の様々な情報的リソースを含んでよい。識別されたユーザのみが個人用リソース400へのアクセスを有するように、個人用リソース400は、複数ユーザ用文書装置のユーザのIDに基づいて情報を提供する。このように、個人用ポータル500は、個人用リソース400の不正規使用及び不正規アクセスに対して保護される。

【0062】上述したように、図1の概略図は、複数ユーザ用文書装置及び/又はインターフェース100をネットワークに接続することにより、一般的リソース200及び/又は個人用リソース400へのアクセスを備えるものとして説明されたが、本発明のシステム及び方法がネットワーク化されていない装置用に実施され得るよう、一般的リソース200及び/又は個人用リソース400は、複数ユーザ用文書装置自体及び/又はユーザ識別装置（後述）と関連づけられてもよいことを理解されたい。

【0063】図2は、本発明による、装置用ポータル300と関連づけられた、一般的リソース200のインターフェース表示110の例を示す図である。図2に示されるように、装置用ポータル300は、例えば、一般的興味のウェブページ310、技術報告320、プレゼンテーション330及び/又は一般的な書式340に対する様々なアイコン又はフォルダを選択することにより、様々な公的情報へのアクセスを提供する。例えば、ユーザは、特定の地方又は地域の新聞の電子版としてのニュース210にアクセスするために、ウェブページアイコン310を選択してもよい。同様に、ユーザは、地方又は地域の天気の電子ソースとしての、天気212にアクセスしてもよい。別のアクセス可能な地域情報216としては、例えば、その複数ユーザ用文書装置の、一般的な近所にある映画館での映画の上映時間等が挙げられよ

う。

【0064】図3は、本発明による複数ユーザ用文書装置のユーザを識別する際、インターフェース表示110の例を示す図である。ユーザ識別装置を用いて、インターフェース100に対してユーザを識別する。様々な実施形態では、ユーザ識別装置は、ログイン及び/又はパスワード等の、ユーザと関連づけられたキーエントリであってもよい。図3に示されている実施形態では、電子タグ等といったユーザのIDを、インターフェース100によって感知又は検出してもよい。電子タグは、例えば、磁気的にコード化されたカード、クレジットカード、スマートカード等のような、任意の公知の又は今後開発されるタイプのものであってよい。

【0065】ユーザの生体測定をユーザ識別装置として用いることができるよう、インターフェース100は、生体測定装置を含んでもよく、又は生体測定装置と通信してもよい。ユーザの生体測定には、指紋、網膜走査、声紋及び電子的なサイン（electronic signature）等といった、個人に特有の様々な人体の特徴が含まれる。公知の又は今後開発される、任意の適切な固有の生体測定を用いてよい。例えば、ユーザを識別するためにDNAサンプルを用いることも、将来的には考えられよう。

【0066】一旦、複数ユーザ用文書装置のユーザが識別されたら、識別されたユーザ用の個人用ポータル500が、インターフェース100にロードされる。この意味では、個人用ポータル500のロードは、インターフェース表示110に、図1に関して上述した個人用リソース400を表すアイコンを設けることであってもよい。図4は、本発明による個人用ポータル500をロードする際の、インターフェース表示110の例を示す図である。

【0067】図5は、本発明による個人用ポータル500のインターフェース表示110の例を示す図である。個人用ポータル500のインターフェース表示110は、識別されたユーザに対する個人的挨拶510、及び/又はユーザのID520等の個人情報、及び/又はアカウント情報530を含んでもよい。様々な情報カテゴリ540にアクセスするために、ユーザは他の様々なアイコンやボタンを選択してもよい。更に、インターフェース表示110は、識別されたユーザにとって特に興味がある情報に対する見出し又は要約550を含んでもよい。例えば、識別されたユーザ用の個人用リソース400を表示するために、アイコン又はボタン560を選択することにより、個人用ポータル500の追加の画面やページが表示されてもよい。

【0068】図6～図12は、本発明による個人用ポータル500と関連づけられた個人用リソース400の例を示す図である。図6は、ユーザが個人用ポータル500を介してアクセスできる、幾つかのデスクトップ関連の個人用リソース400を示している。上述されると共に図6に示されるように、個人用リソース400は、履

歴及び/又はブックマークに登録されたウェブページを含むウェブサイトのアドレス416、及び、パーソナルコンピュータやネットワークから最近アクセスされた文書等の、最近使った文書412を含んでもよい。個人用リソース400は、識別されたユーザの個人用連絡先情報420を含んでもよい。

【0069】図7及び図8にそれぞれ示されるように、個人用ポータル500を介してアクセス可能な個人用リソース400は、識別されたユーザの、ファクシミリ発信ログ410等のこれまでのやりとりの履歴、及び複数ユーザ用文書装置414に対する例えばプリント選択等のユーザ選択を含んでもよい。図9及び図10に示されるように、個人用ポータル500は、装置用ポータル300によって提供される様々な情報リソース、文書/デスクトップリソース422や電子メール418、及び約束のためのカレンダー情報424等の他の情報等の個人用リソースへのアクセスを含んでもよい。他の個人用リソースとしては、ファックス及び/又はスキャンが挙げられる。

【0070】識別されたユーザに特定されると共に識別されたユーザのみによってアクセス可能な個人用リソース400へのアクセスの提供に加えて、個人用ポータル500は、識別されたユーザが所属する、特定の1つ又は複数のグループと関連づけられたリソースへのアクセスを提供してもよい。例えば、図11に示されるように、個人用リソース400は、識別されたユーザの全連絡先426に対するアイコン又はフォルダ、及び/又は、読書グループ428等の選択された興味対象のグループに対するアイコン又はフォルダを含んでもよい。

【0071】個人用ポータル500は、電子メール連絡等のメッセージ送信用の固有のインターフェースを可能にしてもよい。図12に示されるように、複数ユーザ用文書装置でアクセスされる文書が、異なるユーザの間で、それぞれ自分の個人用ポータルを介して共有されてもよい。例えば、個人用ポータル500は、電子メールアドレス等の連絡先情報と関連づけられた複数の個人430を表すアイコンを含んでもよい。識別されたユーザによって選択された文書432を、適切なアイコン430に“ドラッグ”することにより、文書432を所望の個人に送ってもよい。図示されるように、特別なプリントボックスインターフェース112を、そのような用途のための表示インターフェースとして用いてもよい。

【0072】図13は、本発明による複数ユーザ用文書装置を操作するシステム600の、例示的なブロック図である。システム600は、1つ以上の複数ユーザ用文書装置610と、複数ユーザ用文書装置610のそれぞれと関連づけられたインターフェース620と、ポータルサーバ630と、ネットワーク601とを有する。ネットワーク601は、ポータルサーバ630に接続され、且つ、複数ユーザ用文書装置610、及び複数ユーザ用

文書装置610と関連づけられたインターフェース620の少なくとも一方に接続されている。本発明によると、ポータルサーバ630は、ユーザID及び複数ユーザ用文書装置610の少なくとも1つの特徴の少なくとも一方に基づいて、装置用ポータルを生成する。ポータルサーバ630は、複数ユーザ用文書装置610と関連づけられたインターフェース620に、ネットワーク601を介して装置用ポータルを設ける。図示されているポータルサーバ630はネットワーク601上の個別の装置であるが、ポータルサーバ630は複数ユーザ用文書装置610上にあってもよいことを理解されたい。

【0073】ネットワーク接続601は、このようなシステムを接続及び統合するための、任意の公知の又は今後開発される装置又はシステムであってよい。例えば、ネットワーク接続601は、直接ケーブル接続、ワイドエリアネットワーク又はローカルエリアネットワークを介した接続、インターネットを介した接続、インターネットを介した接続、又は、無線を含む他の任意の分散処理ネットワーク又はシステムを介した接続で構成されてもよい。

【0074】図13に示されるように、複数ユーザ用文書装置610は、関連づけられたインターフェース620が複数ユーザ用文書装置610に接続された状態で、ネットワーク601に接続されてもよい。或いは、複数ユーザ用文書装置610及びインターフェース620が両方ともネットワーク601に接続されてもよい。

【0075】図示されている実施形態では、システム600は、ネットワーク601に接続された少なくとも1つのリソース装置、詳細には、一般的又は公的リソース装置640及び個人用リソース装置650を含む。個人用リソース装置650の場合には、ファイヤウォール660を用いてもよい。しかし、要求されるセキュリティレベルによっては、個人用リソース装置650はファイヤウォール660の外にあってもよいことを理解されたい。

【0076】一般的リソース装置640及び/又は個人用リソース装置650は、ネットワーク化されたパーソナルコンピュータ又はネットワーク化されたリポジトリとして実施されてもよい。なお、このシステムは、汎用コンピュータ、専用コンピュータ、プログラムされたマイクロプロセッサ若しくはマイクロコントローラ及び周辺集積回路素子、特定用途向け集積回路（ASIC）若しくは他の集積回路、離散素子回路等の配線電子又は論理回路、又はPLD、PLA、FPGA若しくはPAL等のプログラム可能論理デバイス等を用いて実施することも可能である。

【0077】本発明のシステム及び方法は、カスタム開発されたソフトウェア並びに市販のハードウェア及びソフトウェアの組み合わせとして実施されてもよく、これらは共に、ユーザの識別、ユーザインターフェースの提

供、ユーザの個人情報へのアクセス、及び複数ユーザ用文書装置の制御というタスクを実行する。ユーザの識別のタスクは、例えばテキサス・インスツルメンツ(Texas Instruments)のタグイット無線周波数識別(TagIt Radio Frequency Identification)システム等の、市販の電子I Dカードシステムを用いて実現できる。カスタム開発されたソフトウェアが、例えばテキサス・インスツルメンツのタグイットR F I Dプロトコルを介して、電子I Dシステムと通信してもよい。例えばマイクロソフト(Microsoft)のアクセス(Access)等の、市販のデータベースを用いて、ユーザの電子I D番号を、そのユーザの個人情報及び/又はリソースに例えばマイクロソフトのウインドウズ(登録商標)N T(Windows(登録商標)N T)ネットワーク等のネットワークを介してアクセスするのに必要なデータと、関連づけてもよい。ユーザにポータルユーザインタフェースを提供するタスクは、例えばタッチ画面LCD、オプションのワイヤレスキーボード及びマウス、及びマイクロソフトのウインドウズ(登録商標)(Windows(登録商標))を実行するコンピュータ装置といった、市販のハードウェア及びソフトウェアを用いて実現できる。カスタム開発されたソフトウェアは、ユーザに対して、タッチ画面表示を介した、インターネットに基づくユーザインタフェースを生成するための、例えばマイクロソフトのインターネット・インフォメーション・サービス(Internet Information Service)等の市販のウェブサーバプログラム上で実行されてもよい。ユーザに、自分の個人情報及び/又はリソースへのポータルを介したアクセスを可能にするタスクは、例えばマイクロソフトのウインドウズ(登録商標)A P Iを介して、ユーザのユーザ名及びパスワードを入力として受け取り、そのユーザをネットワーク上で“人格化(im personate)”するカスタム開発ソフトウェアによって実現できる。カスタム開発されたソフトウェアは、例えばマイクロソフトのウインドウズ(登録商標)A P I等の既存のA P Iを用いて、ユーザの文書にアクセスして適切なサムネイル及びアイコンを生成し、例えばマイクロソフトのアウトルック(Outlook)A P I等の別の既存のA P Iを用いて、ユーザのアドレス帳及び電子メールにアクセスしてもよい。カスタム開発ソフトウェアは、ユーザがファイヤウォールを横断して自分の個人情報をアクセスするのを可能にするために、例えばソフトウェアV P N技術等の市販の技術に依存してもよい。ユーザがポータルユーザインタフェースを介して複数ユーザ用文書装置を制御するのを可能にするタスクは、例えばゼロックス(Xerox)のセンターウェア(CenterWare)A P I等の、装置によって提供されるA P Iと通信するカスタム開発ソフトウェアによって実現できる。

【0078】ポータルサーバ630は、サーバデータベース632へのアクセスを含むか又は有する。サーバデータベース632は、複数ユーザ用文書装置610のそ

れぞれに対する装置用ポータル及び/又は個人用ポータル用のデータを格納する。また、一般的リソース及び/又は個人用リソースの格納には、一般的リソース装置640及び個人用リソース装置650ではなく、サーバデータベース632を用いてもよい。

【0079】インタフェース620は、複数ユーザ用文書装置610のユーザを識別するためのハードウェア及び/又はソフトウェア等のユーザ識別装置を含んでもよい。例えば、インタフェースは、ユーザ名及び/又はパスワード等のキーエントリを入力するためのキーボード又はタッチ画面を含んでもよい。代わりに又はそれに加えて、上述したように、ユーザを識別するために、生体測定装置、センサ若しくは読み取り装置、及び/又は受信装置が含まれてもよい。

【0080】図14は、本発明によるネットワーク化された複数ユーザ用文書装置を操作するシステム700の、別の例示的なブロック図である。システム700は、少なくとも1つの複数ユーザ用文書装置710と、各複数ユーザ用文書装置710と関連づけられたポータル関連ハードウェア720と、ポータル関連ソフトウェア730と、これらと通信するネットワーク701とを有する。この例示的なシステムによると、複数ユーザ用文書装置710はネットワーク701に接続されている。ネットワーク701は、このようなシステムを接続及び統合するための、任意の公知の又は今後開発される装置又はシステムであってよい。例えば、ネットワーク701は、直接ケーブル接続、ワイドエリアネットワーク若しくはローカルエリアネットワークを介した接続、インターネットを介した接続、インターネットを介した接続、又は、無線を含む他の任意の分散処理ネットワーク又はシステムを介した接続で構成されてもよい。

【0081】ポータル関連ハードウェア720は、複数ユーザ用文書装置710又はネットワーク701のどちらに接続されてもよい。ポータル関連ハードウェア720は、タッチ画面、I D読み取り機及び/又はI Dペンダを有してもよい。同様に、ポータル関連ソフトウェア730は、複数ユーザ用文書装置710上又はネットワーク701上のどちらで実行されてもよい。ポータル関連ソフトウェア730は、装置用ポータルデータベース、個人用ポータルデータベース及び/又はポータルサーバを有してもよい。

【0082】図示されている実施形態では、システム700は、ネットワーク701に接続された少なくとも1つのリソース装置を含む。詳細には、一般的又は公的リソース装置740及び個人用リソース装置750が示されている。個人用リソース装置750の場合には、ファイヤウォール(図示せず)が存在してもよい。この場合には、ファイヤウォールを横断して個人用リソース装置750にアクセスするために、例えばV P Nソフトウェア等の適切なソフトウェア760が含まれてもよい。

【0083】図15は、本発明によるネットワーク化されていない複数ユーザ用文書装置を操作するシステム800の、例示的なブロック図である。システム800は、複数ユーザ用文書装置810と、ポータル関連ハードウェア820と、ポータル関連ソフトウェア830とを有する。この例示的なシステムによると、複数ユーザ用文書装置810はポータル関連ハードウェア820に接続され、ポータル関連ソフトウェア830は複数ユーザ用文書装置810上で実行される。

【0084】ここでも、ポータル関連ハードウェア820は、タッチ画面、ID読み取り機及び/又はIDペンダを有してもよい。同様に、ポータル関連ソフトウェア830は、装置用ポータルデータベース、個人用ポータルデータベース、ポータルサーバ、及び少なくとも1つのリソース装置を有してもよい。詳細には、一般的又は公的リソース装置及び個人用リソース装置が含まれてもよい。

【0085】図14及び図15は、本発明のシステムの、ネットワーク化構成及び、ネットワーク化されていない、即ちスタンドアロン構成の基本的な特徴を示すものである。他の構成も可能であることは、当業者には明らかである。従って、図14及び図15は、理解のための非限定的な構成を示すことを意図したものである。

【0086】図16～図23は、本発明による複数ユーザ用文書装置を操作する方法を示す例示的なフロー図である。図16に示されるように、制御はステップS10で開始する。ステップS100では、例えば装置データベースに格納されている、その装置のプロフィールを検索することにより、複数ユーザ用文書装置の特徴が識別される。ネットワーク化複数ユーザ用文書装置については、装置データベースは装置又はネットワーク上にあってもよい。スタンドアロンのネットワーク化されていない複数ユーザ用文書装置については、装置データベースは装置上にあってもよい。

【0087】制御はステップS200に進み、そこで、装置プロフィールに基づき、複数ユーザ用文書装置のユーザインターフェース用の装置用ポータルが生成される。装置用ポータルは、複数ユーザ用文書装置上、又はネットワーク化された装置についてはネットワーク上にあってもよい一般的リソースを用いて生成される。次に、ステップS300では、タグ、ユーザのログオン、又は他のユーザ入力が受信又は検出されたか否かが判定される。肯定された場合には、制御はステップS310に進み、そこでユーザが識別される。

【0088】否定された場合には、ユーザは、装置用ポータルを介して、一般的リソース及び複数ユーザ用文書装置の機能を用いて、複数ユーザ用文書装置を操作してもよい。ステップS400に示されるように、ユーザが、複数ユーザ用文書装置のコピー機能を選択したか否かが判定される。肯定された場合には、制御はステップ

S410に進み、そこでコピー機能が呼び出される。ステップS500に示されるように、ユーザが、複数ユーザ用文書装置のスキャン機能を選択したか否かが判定される。肯定された場合には、制御はステップS510に進み、そこでスキャン機能が呼び出される。ステップS600に示されるように、ユーザが、複数ユーザ用文書装置のファックス機能を選択したか否かが判定される。肯定された場合には、制御はステップS610に進み、そこでファックス機能が呼び出される。

【0089】選択された各機能の実行後、一般的リソースが更新されてもよく、制御はステップS700に進む。ステップS700では、ユーザが、複数ユーザ用文書装置のキャンセル操作を選択したか否かが判定される。否定された場合には、制御はステップS200に戻る。肯定された場合には、制御はステップS710に進み、そこで処理が終了する。

【0090】図17は、ステップS310をより詳細に説明する、例示的なフロー図である。ステップS1000では、受信又は検出されたタグ又はログインから、ユーザ名及びパスワード等の情報が取得される。ステップS2000では、その情報又はユーザの証明が処理される。次に、ステップS3000では、そのユーザの証明がOKであるか否かが判定される。否定された場合には、制御はステップS4000に進み、そこで、制御はステップS200に戻り、ユーザが装置用ポータルを介して複数ユーザ用文書装置を操作できるようにする。

【0091】ユーザの証明がOKであった場合には、制御はステップS5000に進み、そこで、ユーザ情報のデータベースがアクセスされる。このデータベースは、スタンドアロンの複数ユーザ用文書装置については、複数ユーザ用文書装置上にあってもよく、ネットワーク化された複数ユーザ用文書装置については、複数ユーザ用文書装置上又はネットワーク上にあってもよい。次に、ステップS6000で、識別されたユーザのプロフィールがデータベースに存在するか否かが判定される。否定された場合には、ステップS7000でデータベースにユーザプロフィールが作成され、制御はステップS5000に戻る。識別されたユーザのプロフィールが既にデータベースに存在する場合には、制御は直接ステップS8000に進み、そこで個人用ポータルが生成される。

【0092】図18は、ステップS8000をより詳細に説明する、例示的なフロー図である。ステップS8100では、ユーザ名、パスワード、及び/又はプロフィールを用いて、最近使った文書ファイル及び電子メール等の個人用リソースのデータベースにアクセスする。個人用リソースのデータベースは、スタンドアロンの複数ユーザ用文書装置については、複数ユーザ用文書装置上又はID装置上にあってもよく、ネットワーク化された複数ユーザ用文書装置については、複数ユーザ用文書装置上又はID装置上又はネットワーク上にあってもよい。

ステップS 8110では、個人用リソースデータベースからの最近使ったファイル、電子メール又は他の情報が、個人用ポータルとして、複数ユーザ用文書装置のユーザインタフェースに追加される。

【0093】そして、ユーザは、個人用ポータルを介して、個人用リソース及び/又は一般的リソース並びに複数ユーザ用文書装置の機能を用いて、複数ユーザ用文書装置を操作できる。ステップS 8120では、ユーザ入力が処理される。ステップS 8300に示されるように、ユーザがファイルを選択したか否かが判定される。肯定された場合には、制御はステップS 8300に進み、そこで、個人用ファイルインタフェースが生成される。ステップS 8400に示されるように、ユーザが複数ユーザ用文書装置のコピー機能を選択したか否かが判定される。肯定された場合には、制御はステップS 8500に進み、そこで、コピー機能が呼び出される。ステップS 8600に示されるように、ユーザが複数ユーザ用文書装置のスキャン機能を選択したか否かが判定される。肯定された場合には、制御はステップS 8700に進み、そこで、個人用スキャンインタフェースが生成される。ステップS 8800に示されるように、ユーザが複数ユーザ用文書装置のファックス機能を選択したか否かが判定される。肯定された場合には、制御はステップS 8900に進み、そこで、個人用ファックスインタフェースが生成される。

【0094】選択された各機能の実行後、個人用リソース及び/又は一般的リソースが更新されてもよい。制御は、更なるユーザ入力のために、ステップS 8120に戻ってよい。ユーザがキャンセル機能を選択した場合、又はユーザ入力が中止されてから特定の時間の後に、処理が終了してもよい。

【0095】図19は、ステップS 8300をより詳細に説明する、例示的なフロー図である。ステップS 8310では、個人用リソースデータベースからの、選択されたファイルと関連づけられたサムネイル及び/又は処理がアクセスされる。次に、ステップS 8320で、選択されたサムネイル及び/又は処理が、個人用ポータルを介して、複数ユーザ用文書装置のユーザインタフェースに追加される。

【0096】そして、ユーザは、個人用ポータルを介してファイルを用いて、サムネイル及び/又は処理を介して、及び/又は一般的リソースを用いて、及び/又は別の個人用リソース及び複数ユーザ用文書装置の機能を用いて、複数ユーザ用文書装置を操作できる。ステップS 8330では、ユーザ入力が処理される。ステップS 8340に示されるように、ユーザが複数ユーザ用文書装置のプリント機能を選択したか否かが判定される。肯定された場合には、制御はステップS 8350に進み、そこで、個人用プリントインタフェースが生成される。ステップS 8360に示されるように、ユーザが複数ユーザ

用文書装置の電子メール機能を選択したか否かが判定される。肯定された場合には、制御はステップS 8370に進み、そこで、個人用電子メールインタフェースが生成される。

【0097】選択された各機能の実行後、個人用リソース及び/又は一般的リソースが更新されてもよく、制御はステップS 8380に進む。ステップS 8380では、ユーザがログアウト又は複数ユーザ用文書装置の操作のキャンセルを選択したか否かが判定される。否定された場合には、制御はステップS 8330に戻ってよい。肯定された場合には、制御はステップS 8390に進み、そこで処理が終了する。

【0098】図20は、ステップS 8350をより詳細に説明する、例示的なフロー図である。ステップS 8351では、ユーザID、証明及び/又はプロフィールを用いて、個人用リソースデータベースの設定選択にアクセスする。次に、ステップS 8352で、個人用ポータルを介して、複数ユーザ用文書装置のユーザインタフェースに設定選択が追加される。

【0099】そして、ユーザは、個人用ポータルを介して、設定選択及び複数ユーザ用文書装置のプリント機能を用いて複数ユーザ用文書装置を操作できる。ステップS 8353では、ユーザ入力が処理される。ステップS 8354に示されるように、ユーザが複数ユーザ用文書装置のプリント機能を選択したか否かが判定される。肯定された場合には、制御はステップS 8355に進み、そこで、選択されたファイルがプリントされる。否定された場合には、制御はステップS 8356に進み、そこで、ユーザが複数ユーザ用文書装置のキャンセル機能を選択したか否かが判定される。否定された場合には、制御はステップS 8353に戻る。肯定された場合には、制御はステップS 8357に進み、そこで、制御はステップS 8000に戻る。

【0100】図21は、ステップS 8370をより詳細に説明する、例示的なフロー図である。ステップS 8371では、ユーザID、証明及び/又はプロフィールを用いて、個人用リソースデータベースからの連絡先にアクセスする。次に、ステップS 8372で、個人用ポータルを介して、複数ユーザ用文書装置のユーザインタフェースに連絡先が追加される。

【0101】そして、ユーザは、個人用ポータルを介して、連絡先及び複数ユーザ用文書装置の電子メール機能を用いて、複数ユーザ用文書装置を操作できる。ステップS 8373では、ユーザ入力が処理される。ステップS 8374に示されるように、ユーザが連絡先を選択したか否かが判定される。肯定された場合には、制御はステップS 8375に進み、そこで、その連絡先が電子メールの受信者リストに追加される。次に、制御はステップS 8376に進む。ユーザが連絡先を選択しなかった場合には、制御は直接ステップS 8376に進む。

【0102】ステップS8376では、ユーザが複数ユーザ用文書装置の送信機能を選択したか否かが判定される。否定された場合には、制御はステップS8378にジャンプし、そこで、ユーザがキャンセル機能を選択したか否かが判定される。否定された場合には、制御はステップS8373に戻る。ユーザがキャンセル機能を選択した場合には、制御はステップS8379に進む。

【0103】ユーザが送信機能を選択した場合には、制御はステップS8377に進み、そこで、選択されたファイルがリストの受信者に送信される。次に、制御は直接ステップS8379に進む。ステップS8379で、制御はステップS8000に戻る。

【0104】図22は、ステップS8700をより詳細に説明する、例示的なフロー図である。ステップS8710では、ユーザID、証明及び/又はプロフィールを用いて、個人用リソースデータベースからのスキャン設定選択及び/又はロケーションにアクセスする。次に、ステップS8720で、個人用ポータルを介して、複数ユーザ用文書装置のユーザインタフェースに、スキャン設定選択及び/又はロケーションが追加される。

【0105】そして、ユーザは、個人用ポータルを介して、スキャン設定選択及び/又はロケーション並びに複数ユーザ用文書装置のスキャン機能を用いて、複数ユーザ用文書装置を操作できる。ステップS8730では、ユーザ入力が処理される。ステップS8740に示されるように、ユーザがスキャンを選択したか否かが判定される。肯定された場合には、制御はステップS8750に進み、そこで、選択されたファイルが選択されたロケーションに向けてスキャンされる。次に、ステップS8760で、スキャンされたファイルが最近使ったファイルのリストに追加され、個人用リソースが更新される。次に、制御はステップS8780にジャンプする。

【0106】ユーザがスキャンを選択しなかった場合には、制御は直接ステップS8770に進む。ステップS8770では、ユーザが複数ユーザ用文書装置のキャンセル機能を選択したか否かが判定される。否定された場合には、制御はステップS8730に戻る。ユーザがキャンセル機能を選択した場合には、制御はステップS8780に進む。ステップS8780で、制御はステップS8000に戻る。

【0107】図23は、ステップS8900をより詳細に説明する、例示的なフロー図である。ステップS8910では、ユーザID、証明及び/又はプロフィールを用いて、個人用リソースデータベースからの、連絡先、ファックスログ及び/又はファックス設定選択にアクセスする。次に、ステップS8920で、個人用ポータルを介して、複数ユーザ用文書装置のユーザインタフェースに、連絡先、ファックスログ及び/又はファックス設定選択が追加される。

【0108】そして、ユーザは、個人用ポータルを介し

て、連絡先、ファックスログ及び/又はファックス設定選択、並びに複数ユーザ用文書装置のファックス機能を用いて、複数ユーザ用文書装置を操作できる。ステップS8930では、ユーザ入力が処理される。ステップS8940に示されるように、ユーザが連絡先を選択したか否かが判定される。肯定された場合には、制御はステップS8954に進み、そこで、その連絡先がファックスの受信者リストに追加される。次に、制御はステップS8950に進む。ユーザが連絡先を選択しなかった場合には、制御は直接ステップS8950に進む。

【0109】ステップS8950では、ユーザが複数ユーザ用文書装置のファックス機能を選択したか否かが判定される。否定された場合には、制御はステップS8970にジャンプし、そこで、ユーザがキャンセル機能を選択したか否かが判定される。否定された場合には、制御はステップS8930に戻る。ユーザがキャンセル機能を選択した場合には、制御はステップS8980に進む。

【0110】ユーザがファックス機能を選択した場合には、制御はステップS8955に進み、そこで、選択されたファイルがリストの受信者に宛てて送信される。次に、ステップS8960で、ファックスされたファイルが最近使ったファイルのリストに追加され、個人用リソースが更新される。次に、ステップS8965で、そのファックス番号がファックスログに追加され、個人用リソースが更新される。次に、制御はステップS8980にジャンプする。ステップS8980では、制御はステップS8000に戻る。

【0111】本発明は、特定の実施形態と共に説明されたが、当業者にとっては多くの代替、変形及び変更が明白であることは明らかである。従って、本発明の例示的な実施形態は説明的であることを意図されるものであり、限定的なものではない。本発明の精神及び範囲を逸脱することなく、様々な変更がなされ得るものである。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明による複数ユーザ用文書装置を操作するシステムの概略図である。

【図2】本発明による装置用ポータルと関連づけられた一般的リソースのインターフェース表示の例を示す図である。

【図3】本発明による複数ユーザ用文書装置のユーザを識別する際のインターフェース表示の例を示す図である。

【図4】本発明による個人用ポータルにアクセスする際のインターフェース表示の例を示す図である。

【図5】本発明による個人用ポータルのインターフェース表示の例を示す図である。

【図6】本発明による個人用ポータルと関連づけられた個人用リソースの例を示す図である。

【図7】本発明による個人用ポータルと関連づけられた個人用リソースの例を示す図である。

【図 8】本発明による個人用ポータルと関連づけられた個人用リソースの例を示す図である。

【図 9】本発明による個人用ポータルと関連づけられた個人用リソースの例を示す図である。

【図 10】本発明による個人用ポータルと関連づけられた個人用リソースの例を示す図である。

【図 11】本発明による個人用ポータルと関連づけられた個人用リソースの例を示す図である。

【図 12】本発明による個人用ポータルと関連づけられた個人用リソースの例を示す図である。

【図 13】本発明による複数ユーザ用文書装置を操作するシステムの例を示すブロック図である。

【図 14】本発明によるネットワーク化された複数ユーザ用文書装置を操作するシステムの別の例を示すブロック図である。

【図 15】本発明によるネットワーク化されていない複数ユーザ用文書装置を操作するシステムの例を示すブロック図である。

【図 16】本発明による複数ユーザ用文書装置を操作する方法の例を示すフロー図である。

【図 17】本発明による複数ユーザ用文書装置を操作する方法の例を示すフロー図である。

【図 18】本発明による複数ユーザ用文書装置を操作する方法の例を示すフロー図である。

【図 19】本発明による複数ユーザ用文書装置を操作す*

*る方法の例を示すフロー図である。

【図 20】本発明による複数ユーザ用文書装置を操作する方法の例を示すフロー図である。

【図 21】本発明による複数ユーザ用文書装置を操作する方法の例を示すフロー図である。

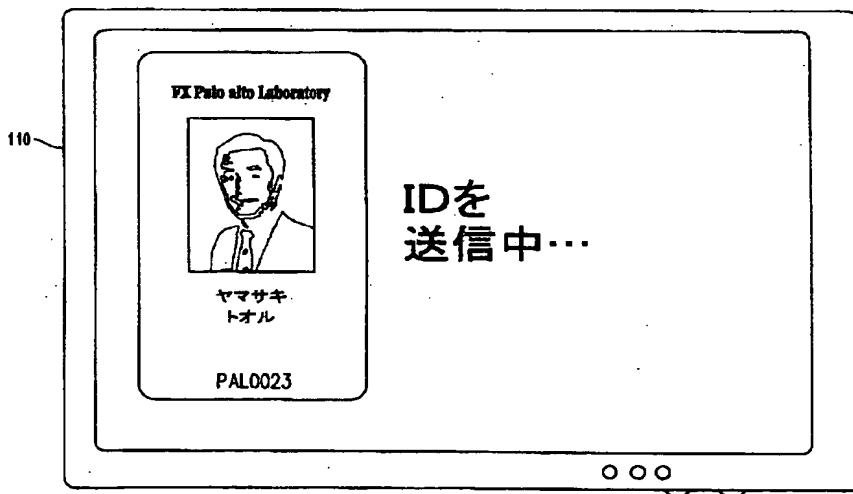
【図 22】本発明による複数ユーザ用文書装置を操作する方法の例を示すフロー図である。

【図 23】本発明による複数ユーザ用文書装置を操作する方法の例を示すフロー図である。

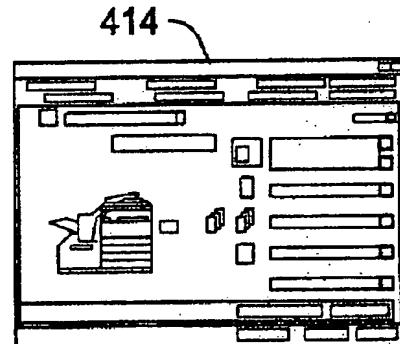
10 【符号の説明】

1 0 0	インターフェース
1 0 2	機能的リソース
2 0 0	一般的リソース
3 0 0	装置用ポータル
4 0 0	個人用リソース
5 0 0	個人用ポータル
6 0 0	システム
6 0 1	ネットワーク
6 1 0	複数ユーザ用文書装置
20 6 2 0	インターフェース
6 3 0	ポータルサーバ
6 4 0	一般的リソース装置
6 5 0	個人的リソース装置
6 6 0	ファイヤウォール

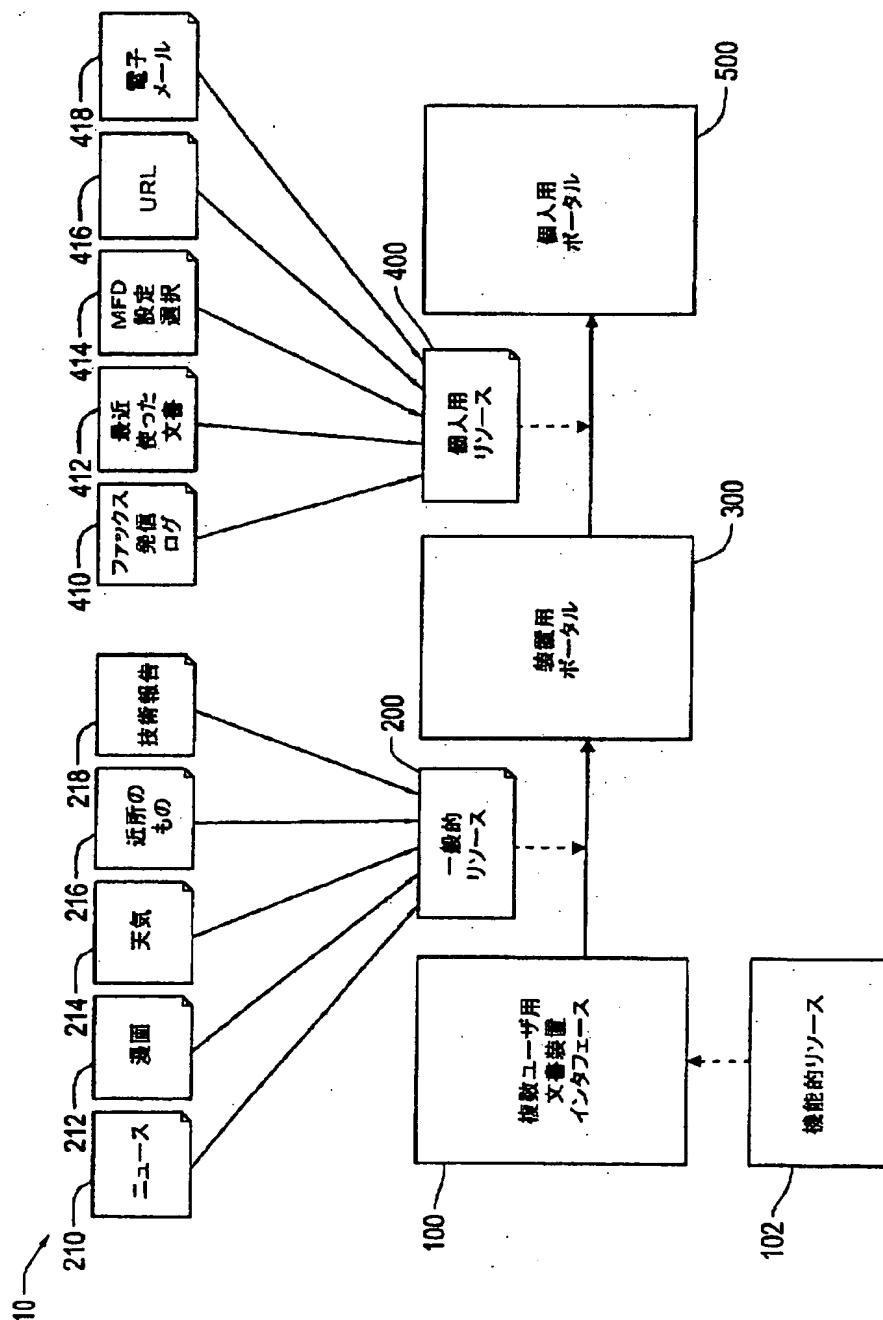
【図 3】



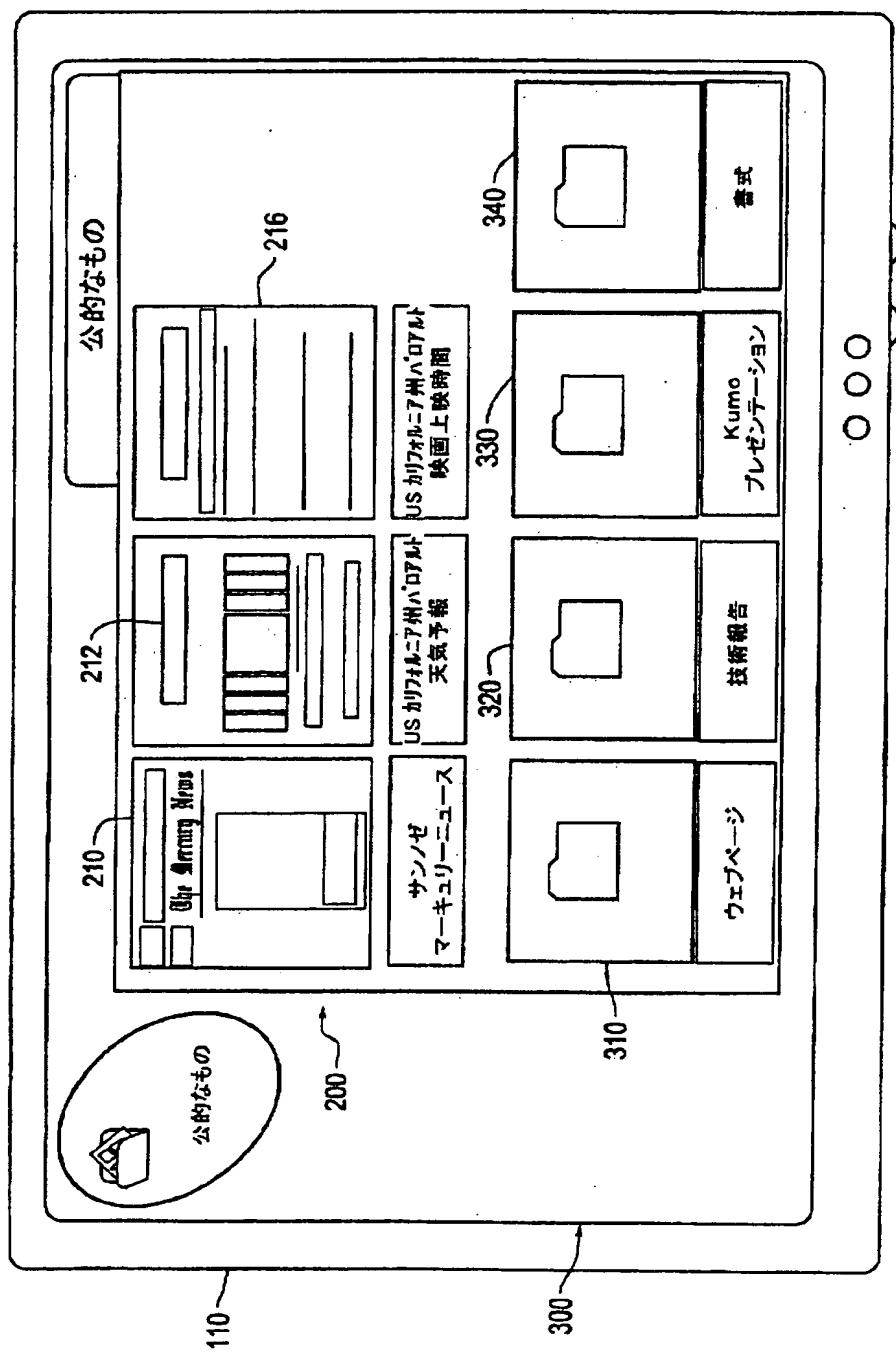
【図 8】



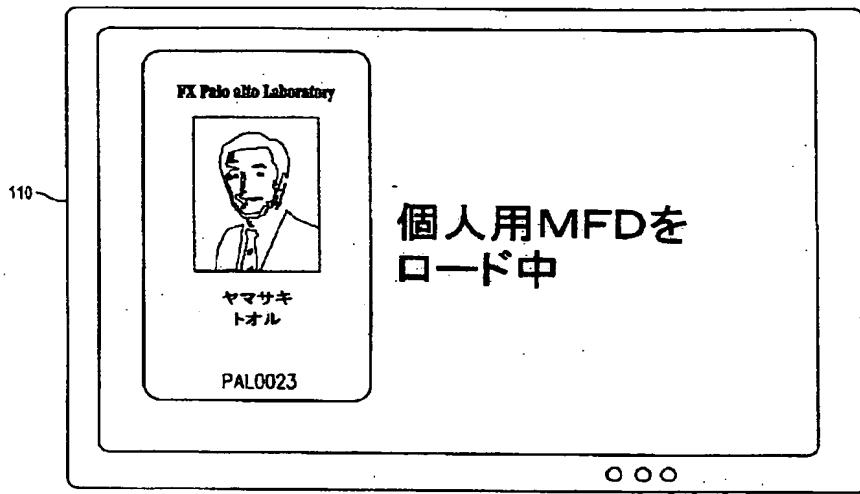
【図1】



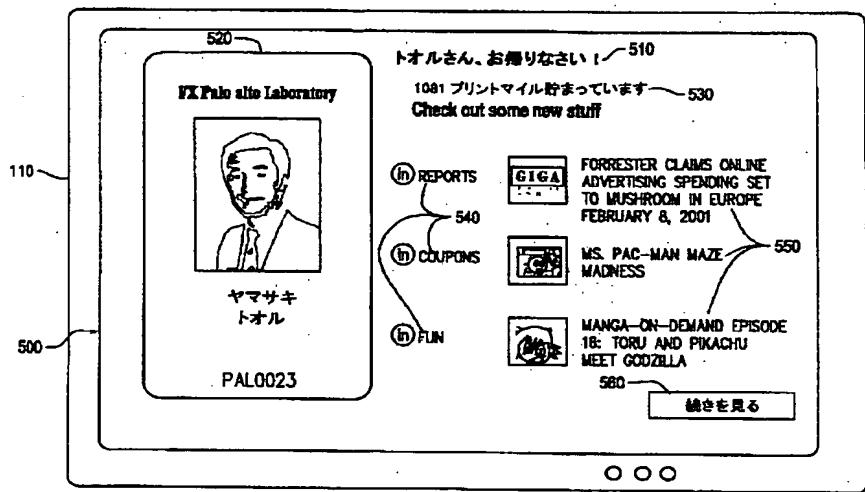
【図2】



【図4】



【図5】

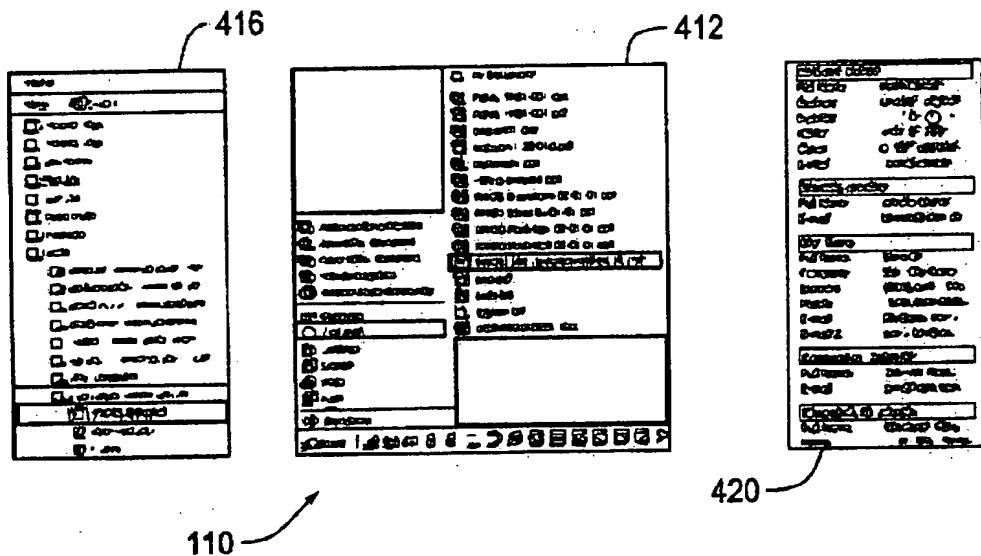


【図7】

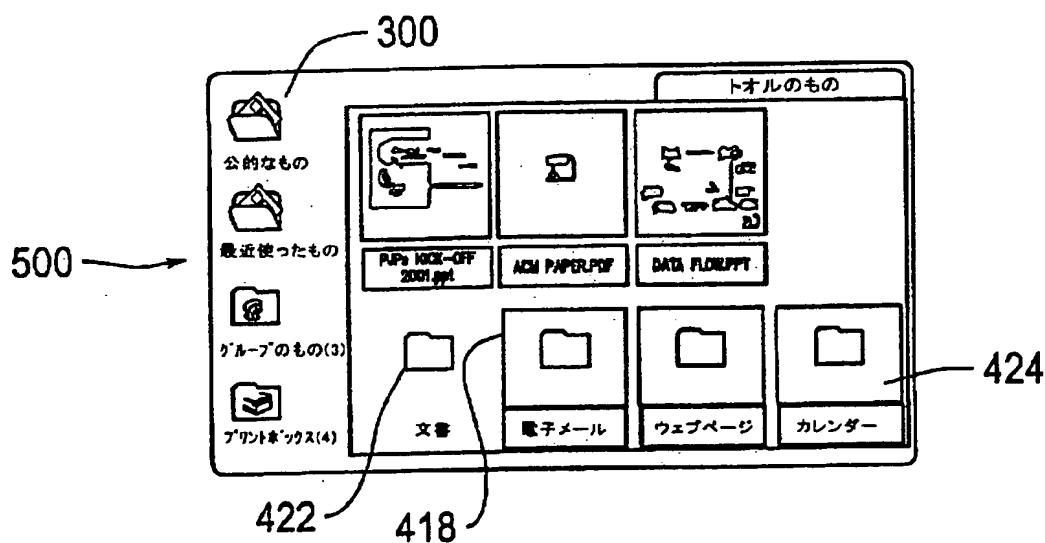
410

Time of Call	To	Duration
7月 10 04:32:22	112->202->201	1 min 38 sec
7月 14 07:21:22	555-9999	37 sec
7月 14 07:24:09	131->226->225	1 min 8 sec
7月 14 07:33:10		8 sec
7月 14 07:31:45	213	28 sec
7月 14 07:32:10	3 (804) 422-0363	35 sec
7月 14 07:35:31	3-(661) 655-6933	8 min 37 sec
7月 14 07:43:34	999-2820	20 sec
7月 14 07:46:45	888-9408	20 sec
7月 14 07:52:48	999-2899	37 sec
7月 14 07:53:37	555-7208	3 sec

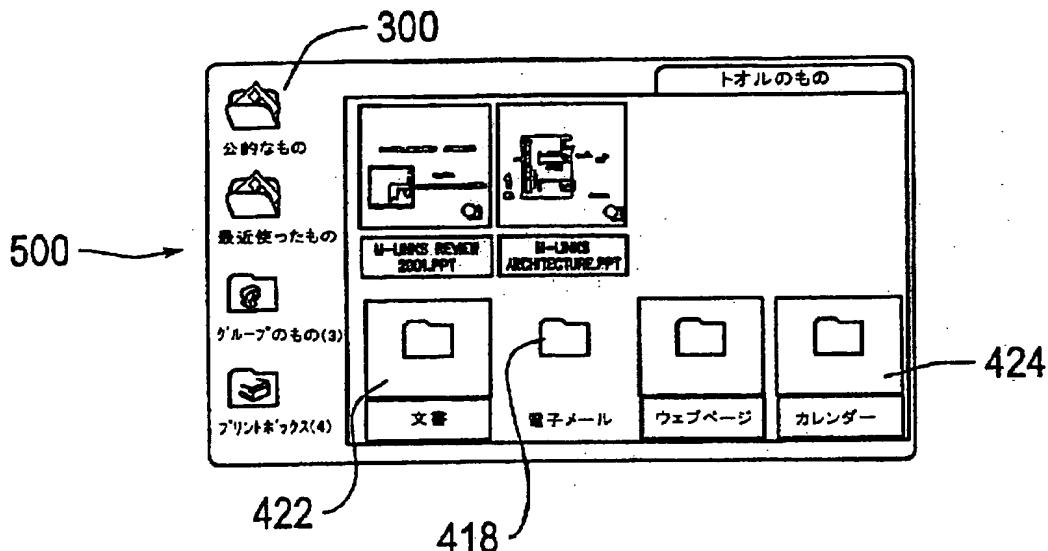
【図6】



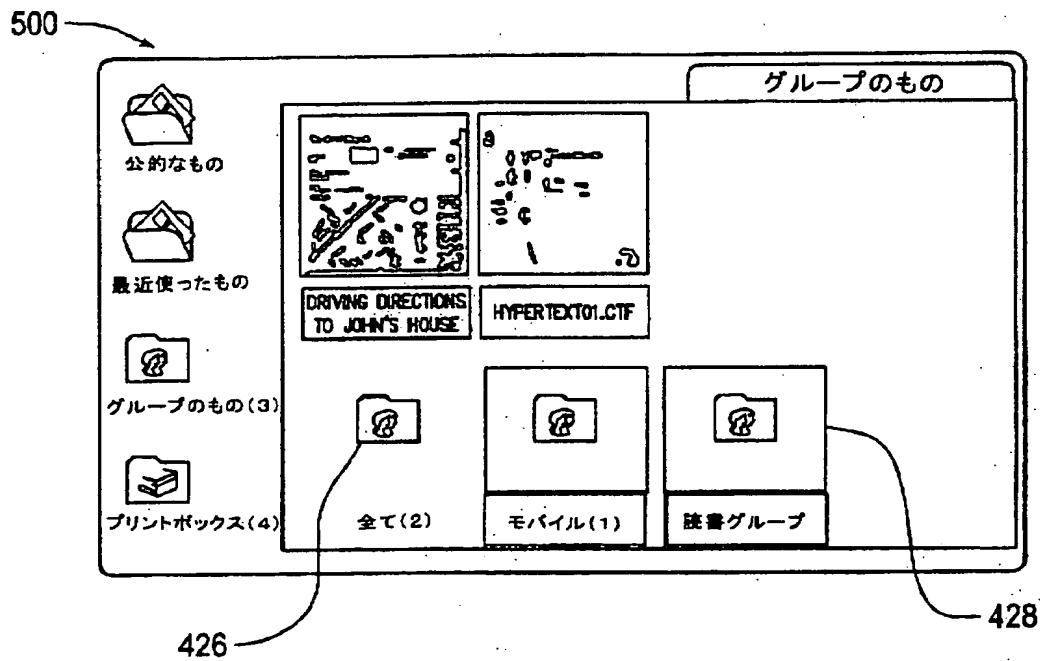
【図9】



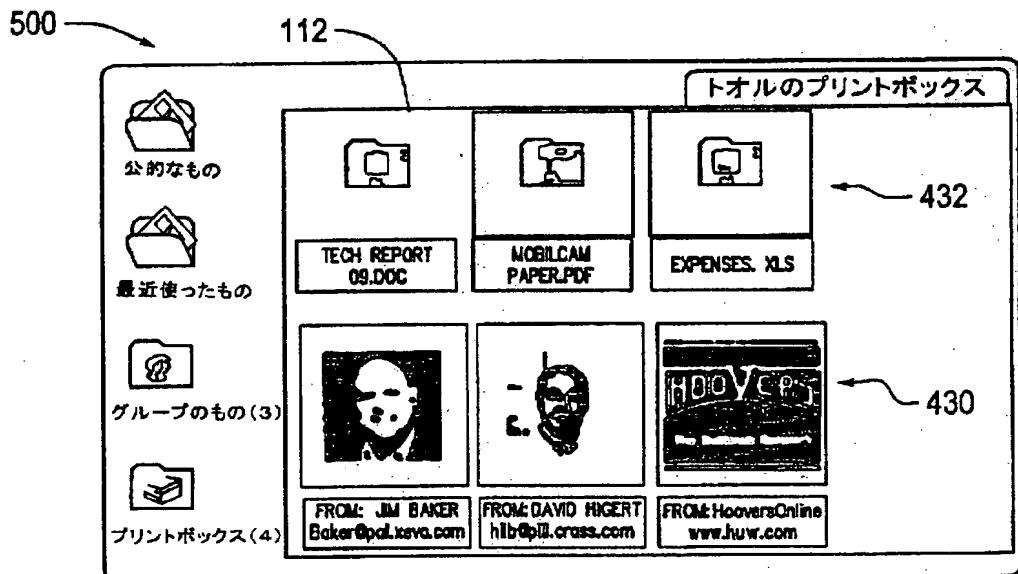
【図10】



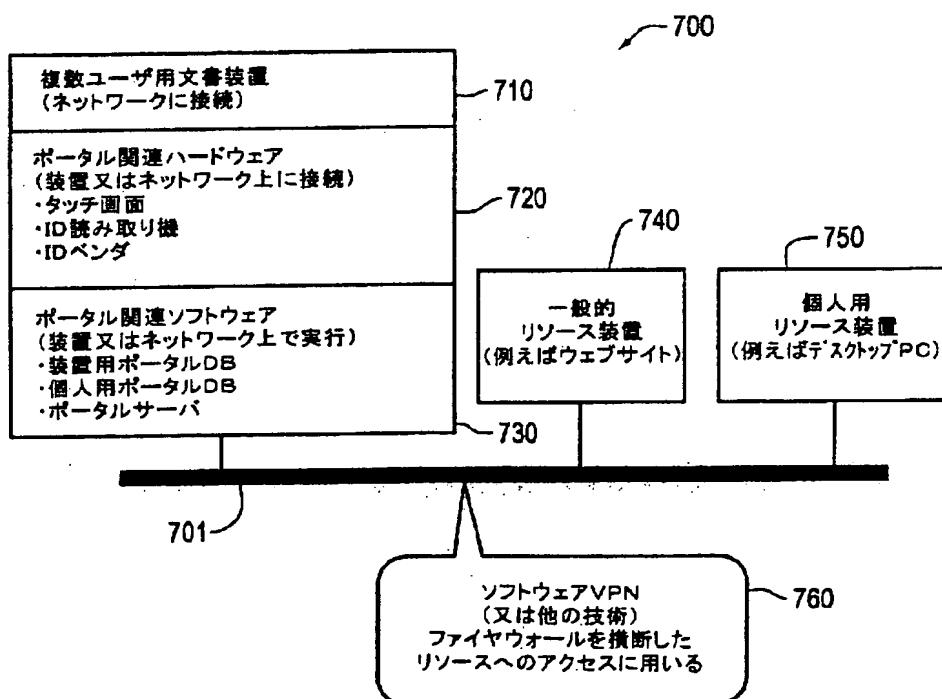
【図11】



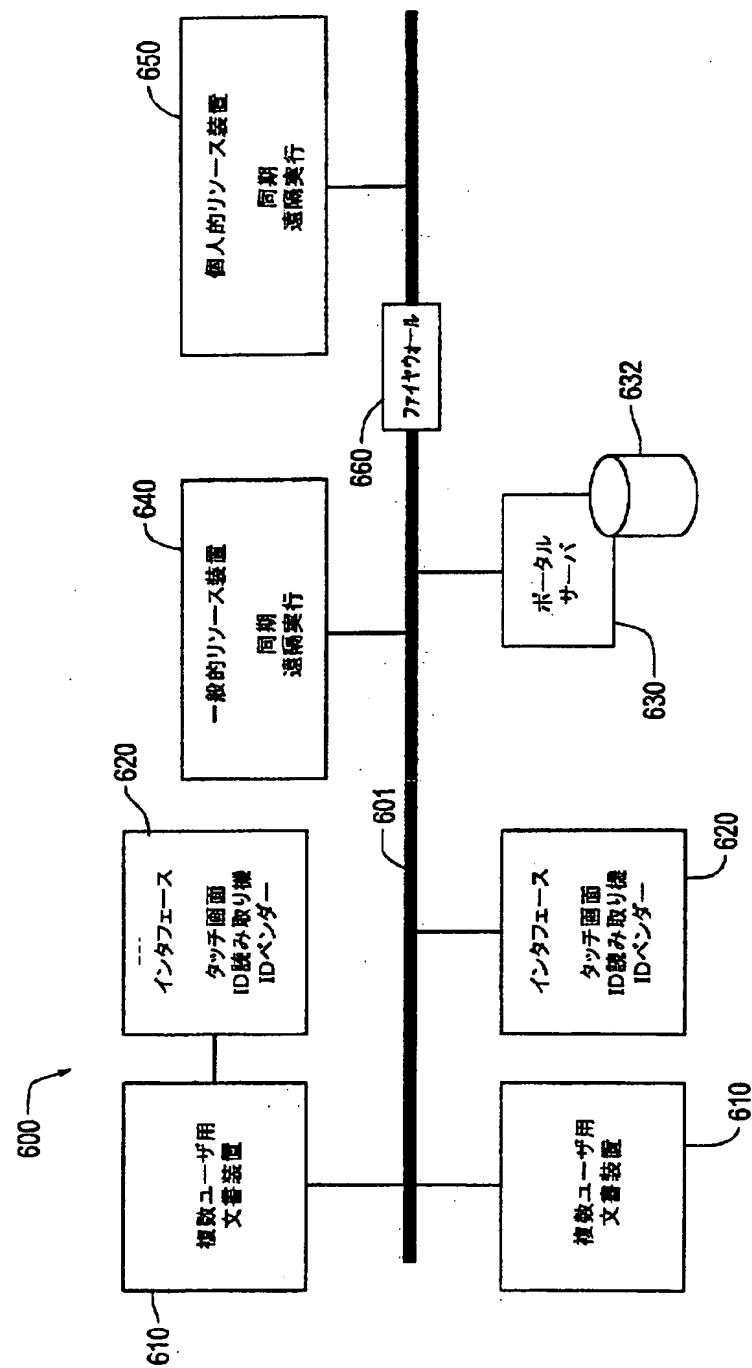
【图 12】



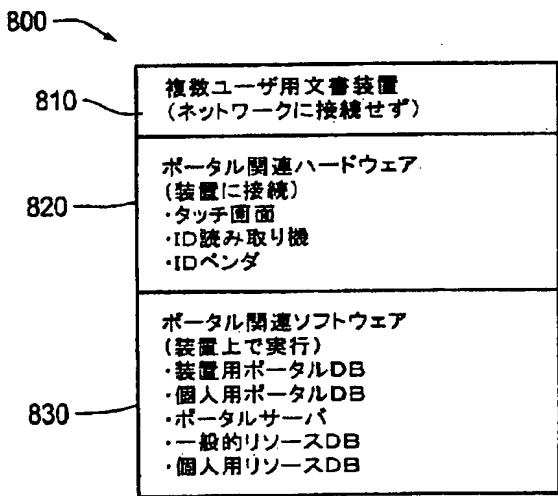
【图 1-4】



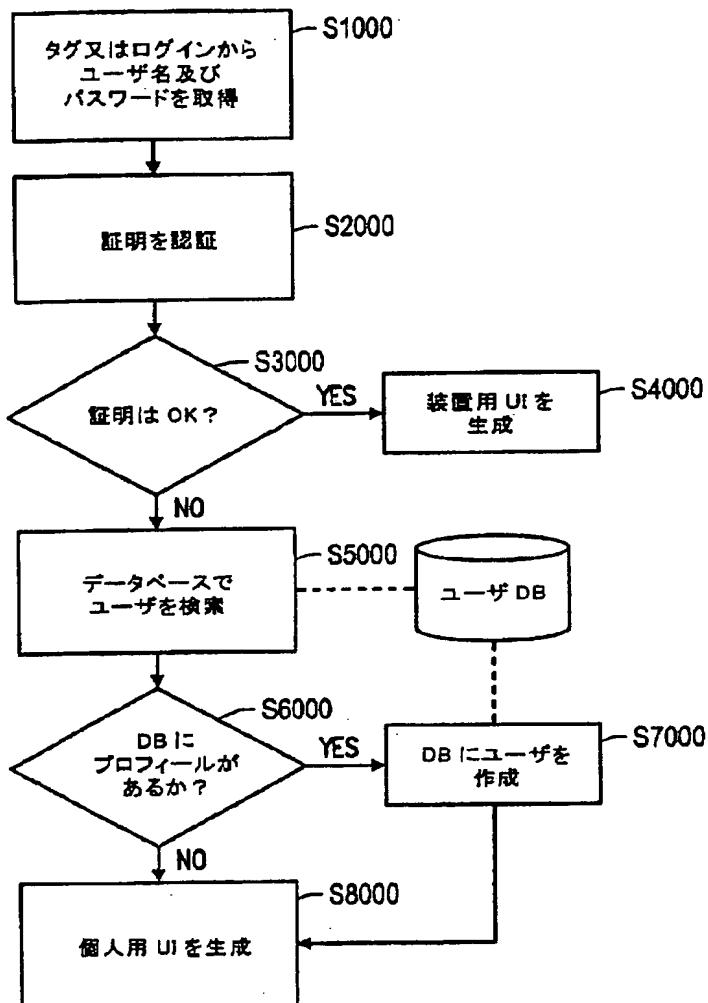
【図13】



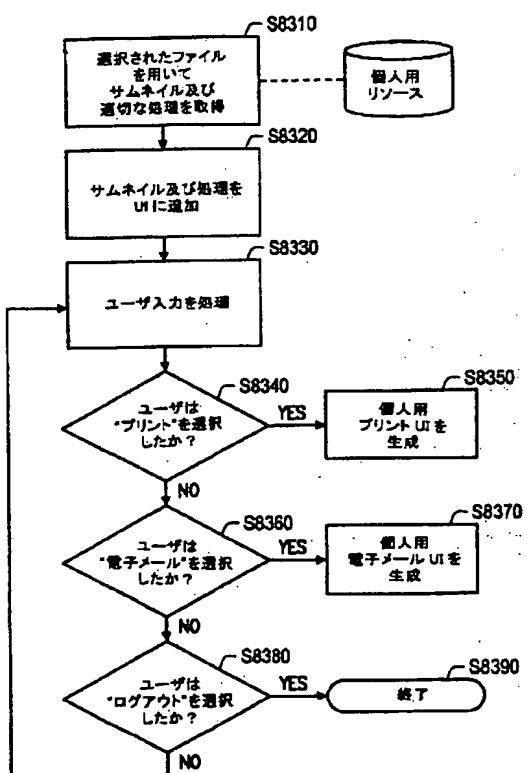
【図15】



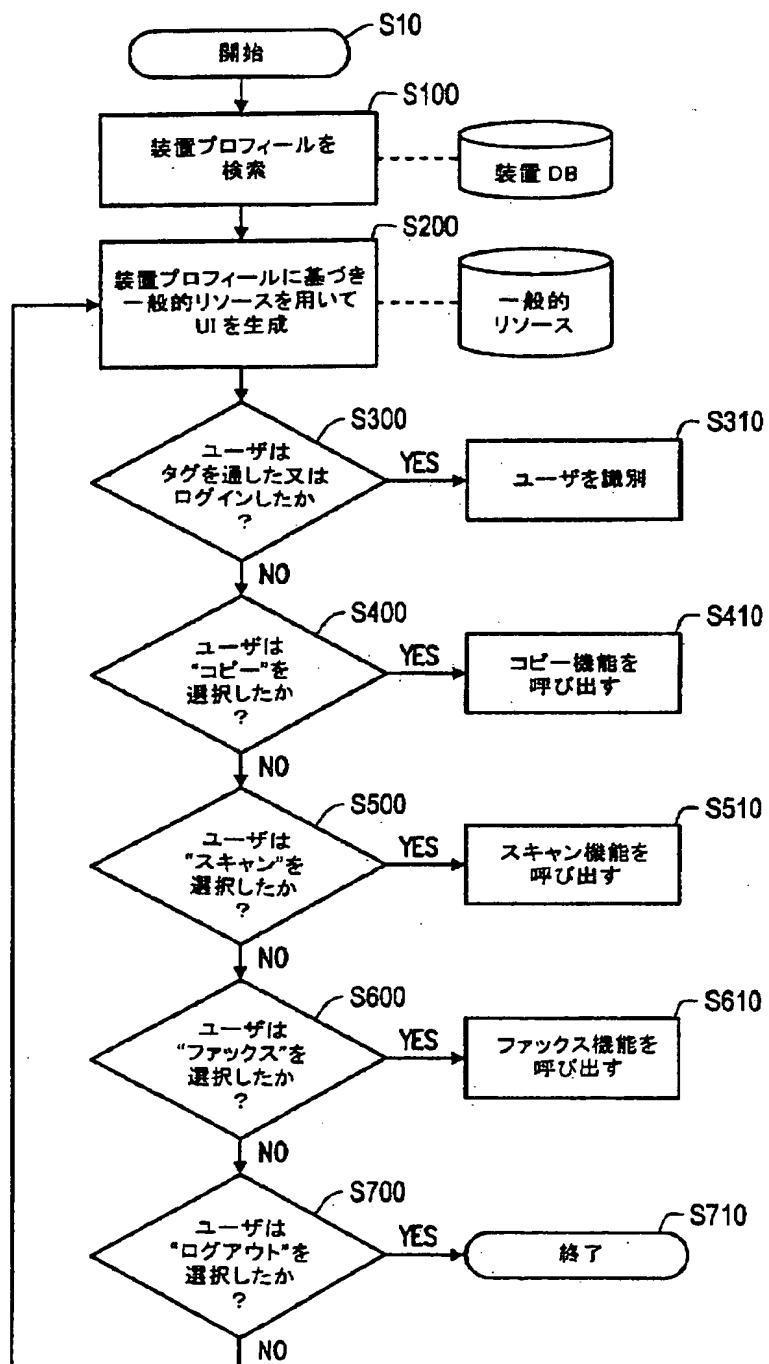
【図17】



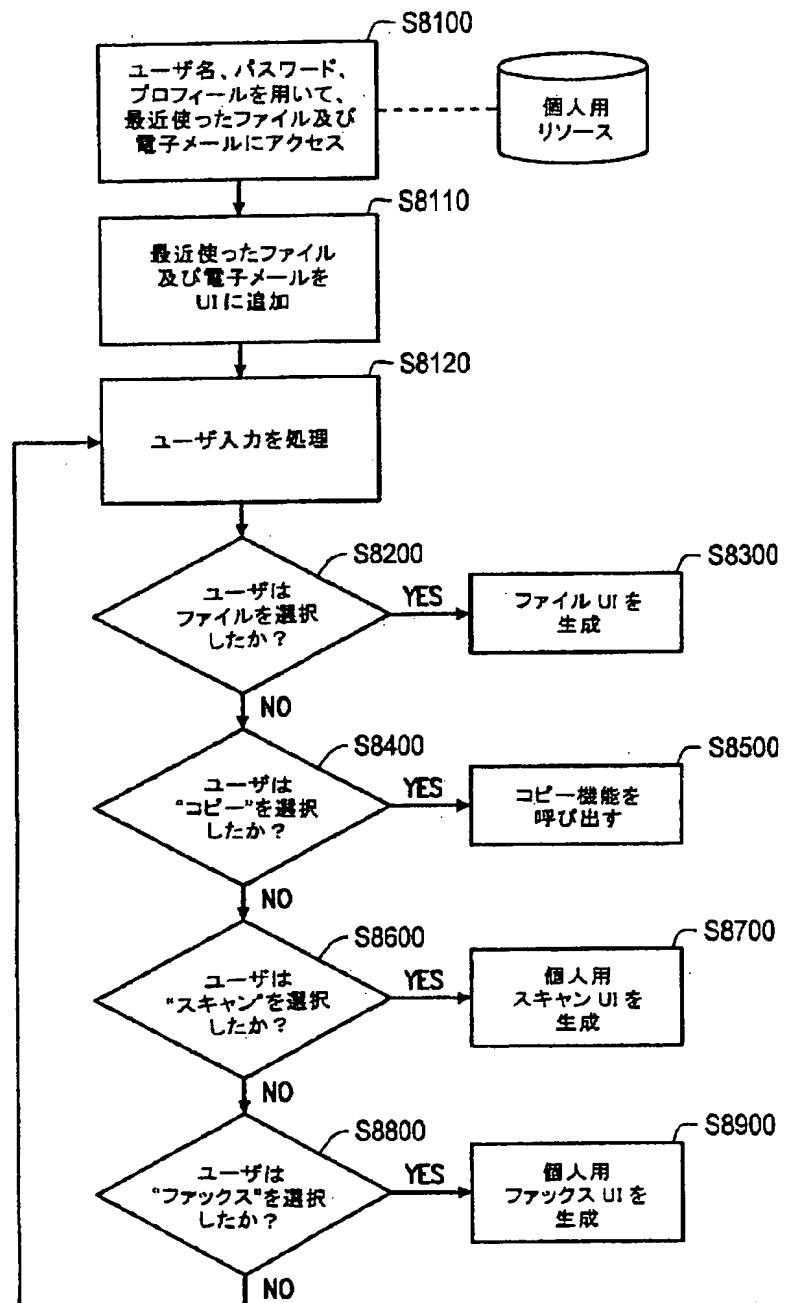
【図19】



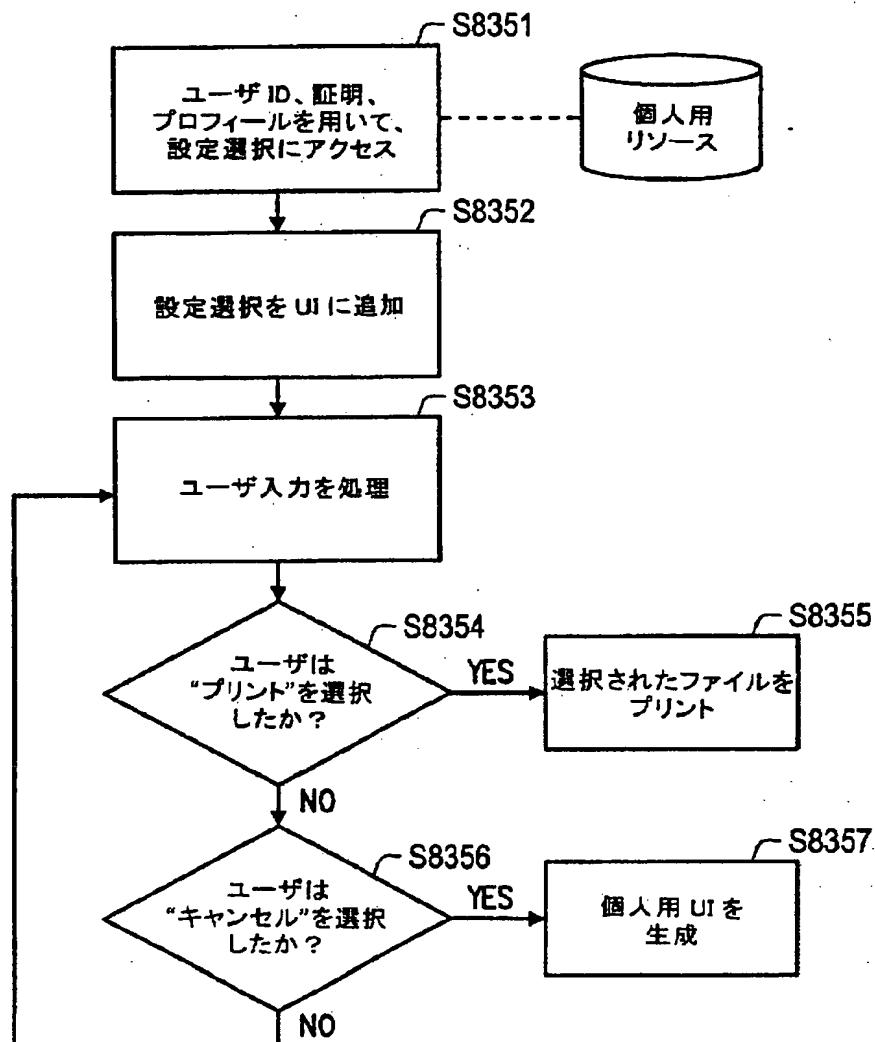
【図16】



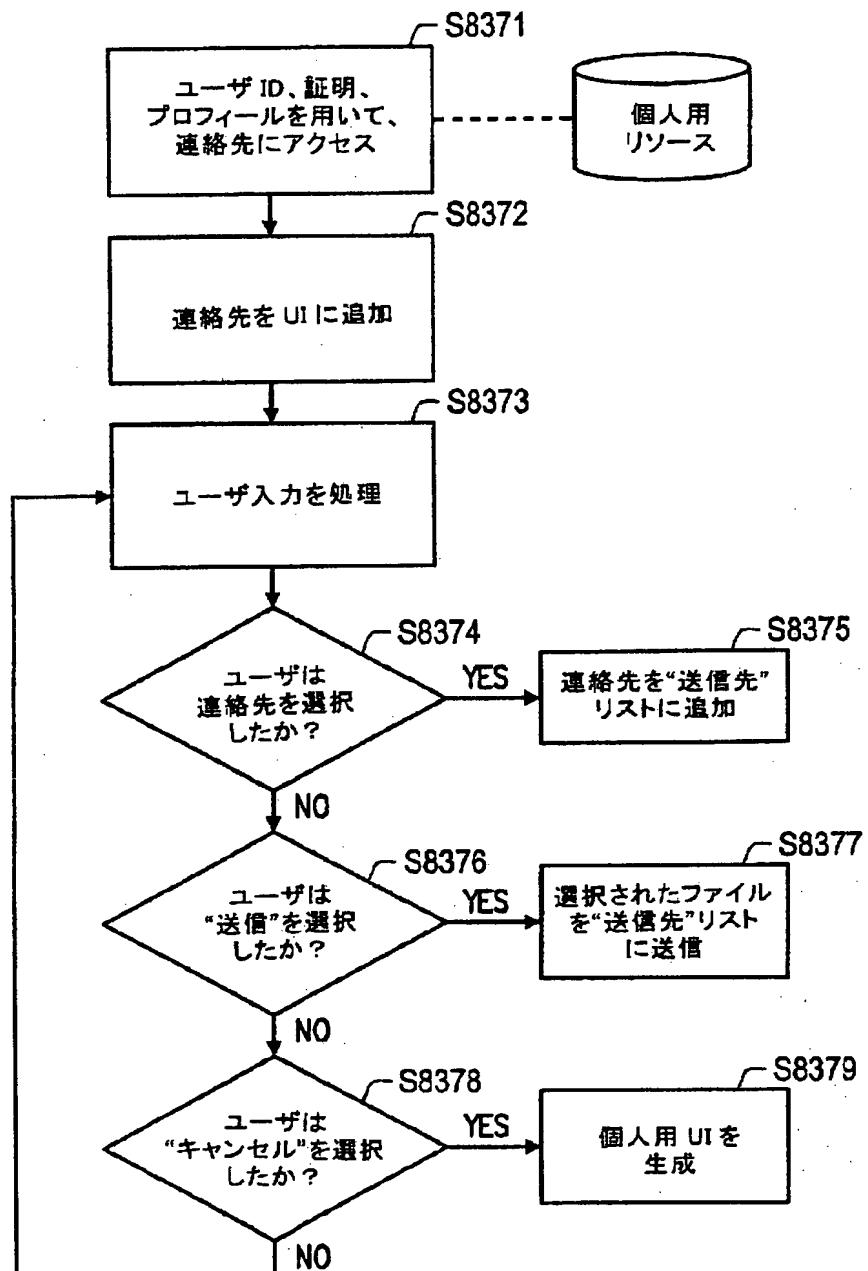
【図18】



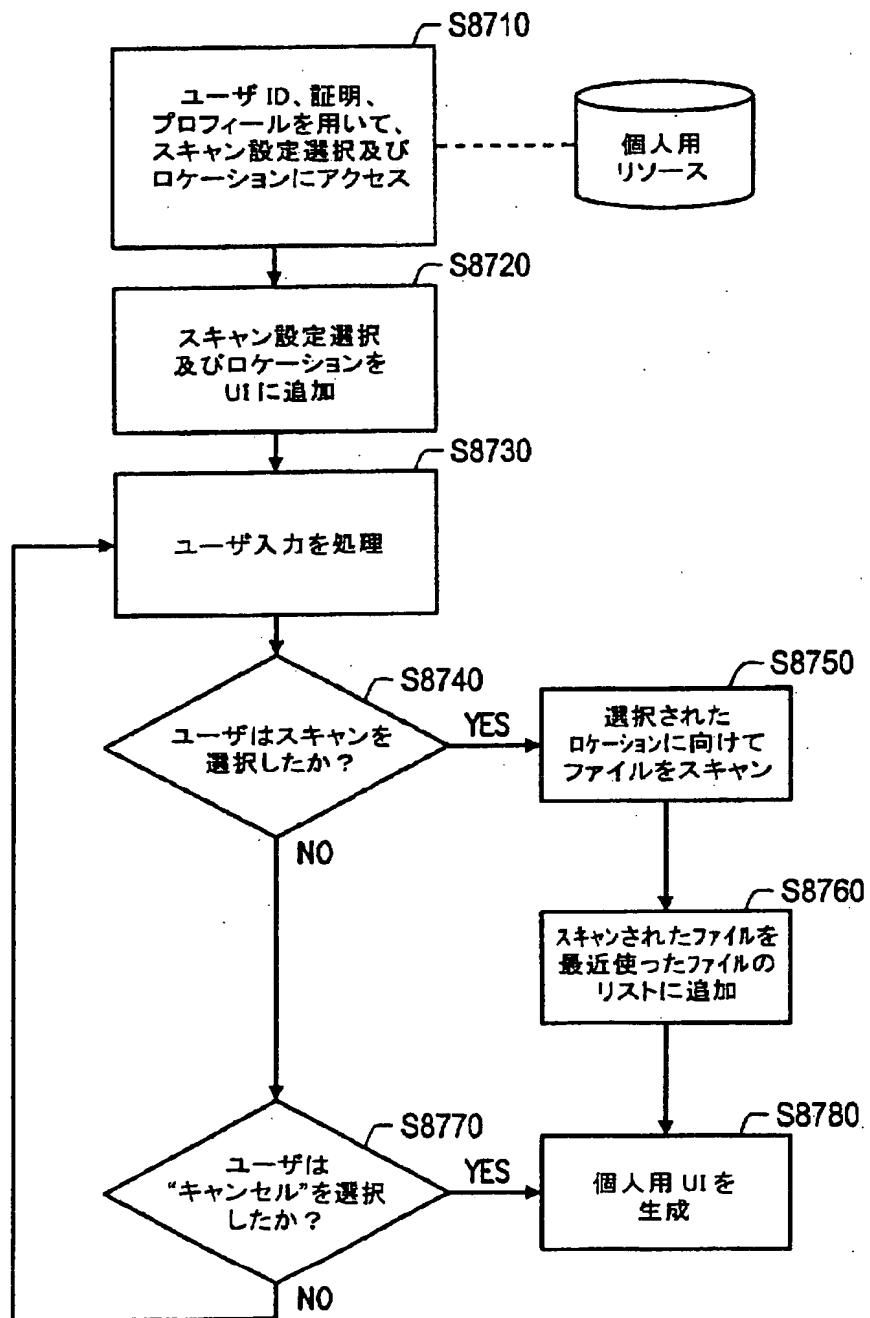
【図20】



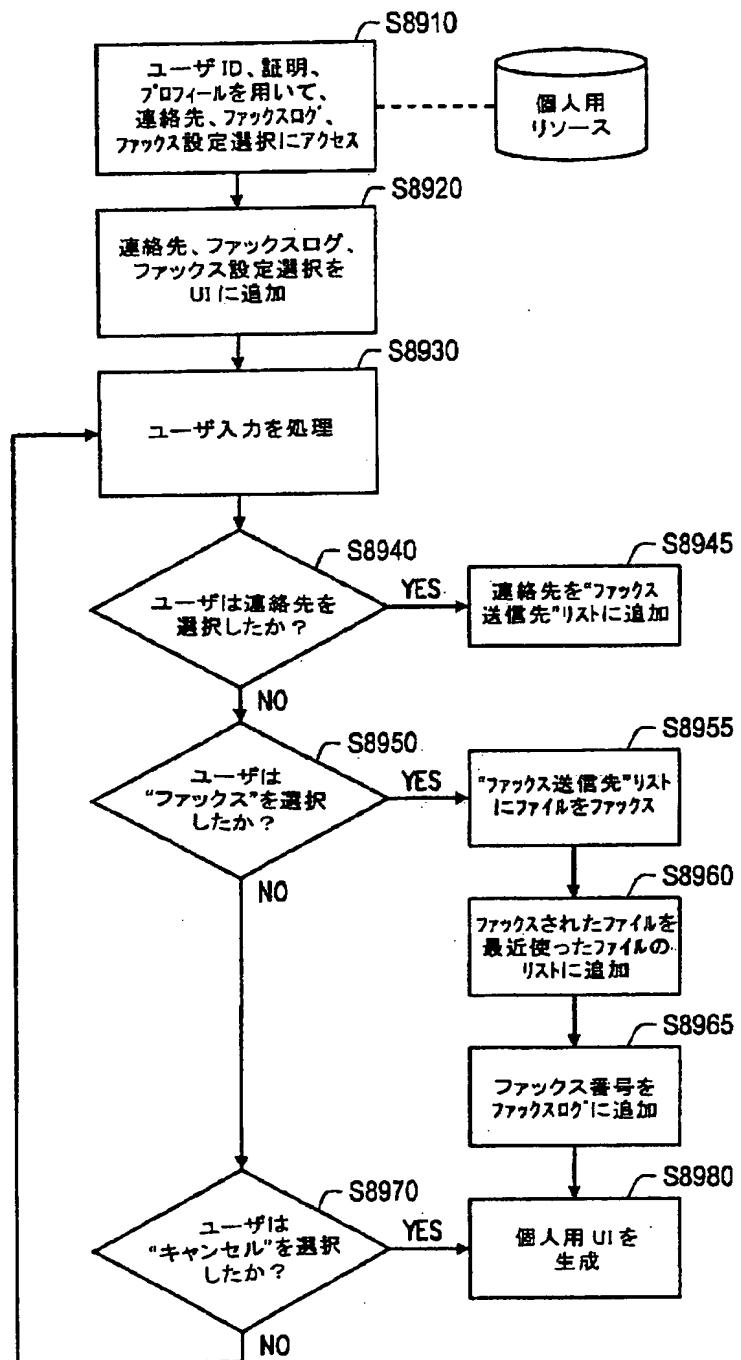
【図21】



【図22】



【図23】



フロントページの続き

(72)発明者 ジョナサン ジェームズ トレヴァー
アメリカ合衆国 94304 カリフォルニア
州 パロ アルト ヒルビュー アベニュー
一 3400 ビルディング 4 エフエック
ス パロ アルト ラボラトリー インコ
ーポレイテッド内

(72)発明者 ウィリアム ノア シリット
アメリカ合衆国 94304 カリフォルニア
州 パロ アルト ヒルビュー アベニュー
一 3400 ビルディング 4 エフエック
ス パロ アルト ラボラトリー インコ
ーポレイテッド内

(72)発明者 ジェイムズ パイコック
アメリカ合衆国 94304 カリフォルニア
州 パロ アルト ヒルビュー アベニュー
一 3400 ビルディング 4 エフエック
ス パロ アルト ラボラトリー インコ
ーポレイテッド内

F ターム(参考) 5B021 AA01 AA19 BB00
5B085 AA08 BC02 BG02 BC07
5C062 AA05 AA14 AA29 AB11 AB16
AB22 AB23 AC02 AC04 AC05
AC22 AC39 AE01 AE07 AE14
AF01 AF02 AF12 AF13 AF14
BA02 BC01 BC05